

1971年8月7日 第3種郵便物認可(毎月1・6の日発行)

2022年3月24日発行 SSKA 頸損 通巻10734号

# SSKA

# 頸 損

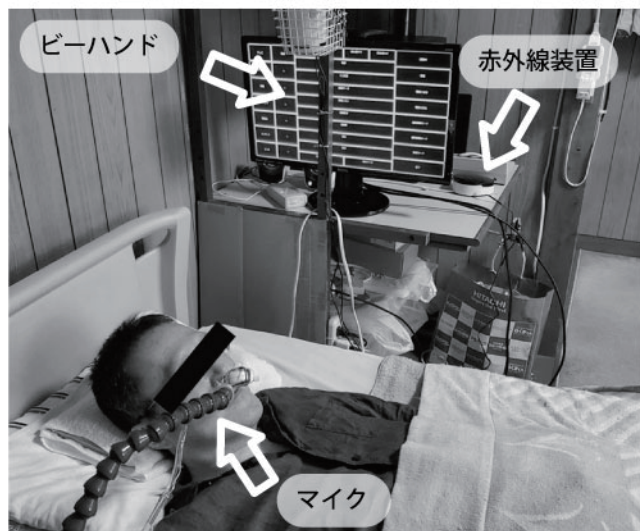
## KEISON No. 136

### 目 次

特集 職場介助者の活用事例報告	1
事務局からのお知らせ	13
第49回 全国頸髄損傷者連絡会 全国総会 四国大会に向けて	14
支部の活動紹介(徳島支部)	16
ミニ四駆 全国大会開催されるまでの道のり	18
横隔膜ペースメーカー講演会 ウェビナー報告	20
To be yourself「ひとり暮らし」	21
第5回 災害リハビリテーション支援研修会参加報告	22
脊髄損傷の治療に光が! 世界初 iPS 由来の細胞を移植	23
団体紹介:NPO 法人イランの障害者を支援するミントの会	24
製品紹介:命を見守るセンサー「SuuHaa」	26
書評 「頸損解体新書2020 -自分らしくあるために-	28
第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部	29
お役立ち!?	30
報道・情報ピックアップ	32
全国頸損連絡会&関係団体”年間予定”	34
全国頸髄損傷者連絡会連絡先	35
編集部のページ	36

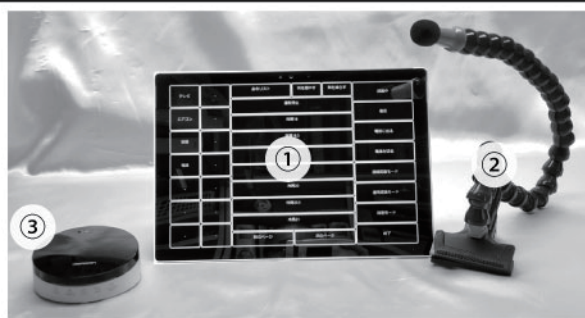
# 音声認識 AI 環境制御システム 『BeHAND (ビーハンド)』

介助負担の軽減と自立支援に。



ビーハンドは音声認識 AI を利用した環境制御システムです。

パソコン・テレビ・レコーダー・エアコン・照明・ベッド・電気錠・ドアホン等、あなたの言葉で操作が出来ます。



【ビーハンド基本システム内容】TAISコード：02034-000001

税込価格 303,600 円～（設置設定費込）

- ①ビーハンド本体（パソコン別途）
- ②単一指向性のフレキシブルマイク（約 75cm）
- ③赤外線学習装置

※インターネット必要 Windows10 対応

主な特徴

自由な  
言葉

なまり  
方言 OK

日本全国  
訪問設置

一般家電  
空調制御

IP 電話  
受発信

電動ベッ  
ド制御

電気錠  
制御

全設定  
お任せ

設置設定  
費込み

電源ポン  
簡単準備

日常生活  
用具給付

複数 PC  
登録

登録台数  
14 台

登録信号  
800 ボタン

リモート  
遠隔作業

365 日  
アフター

詳しい情報は、ホームページをご覧ください。ご質問等は下記まで電話もしくはメールでご連絡ください。また、無料の出張デモをさせていただいておりますので、ご希望の方はご予約ください。

【開発・販売】

リフォームレシピ 岡山県岡山市中区高島二丁目 5-8-2  
TEL：090-9467-5660 メール：kataoka@reform-recipe.com

ビーハンド

検索

## 職場介助者制度を活用した就労

関根 彩香

### 受傷レベル、原因について

私の受傷レベルは C3-4 完全麻痺で、受傷原因は 2004 年の中学 1 年時にスポーツ中の転落による脱臼骨折です。普段は簡易電動車いすに乗っていることが多いです。左右差が大きいので右手だけでパソコン入力はできますが、手首の背屈と伸展はできないのでモノやコップを持つことは難しいレベルです。

### 現在の生活環境

埼玉県さいたま市で一人暮らしをして、7 年目になろうとしているところです。学生のうちに一人暮らしの基盤を作りたいと思い、県営住宅（単身用バリアフリールーム）に当選したことを機に一人暮らしを始めました。ほぼ 24 時間、ヘルパーさんによる重度訪問介護の支援を受けながら生活しています。

現在、日勤と夜勤を合わせて 6 事業所を利用して、日勤は 8:30-19:30 のうち事業所やヘルパーさんによって変動があります。シフト全部が埋まらないこともあり、自薦ヘルパーの募集を始めたところです。また最近、スマートロックやスマートリモコン等を導入しスマートホーム化したことで、家電の操作等自分でできることが増えて便利な生活を手に入れました。

### 就労環境について

新卒で現在の会社（福祉系の商社）に就職して、現在 4 年目です。一般職で雇用され、週 5 日、8:30-17:00 のフルタイムで働いています。私の会社には障害者雇用枠はなく、多様な障害がある方も一般雇用で採用されています。ですが介助が必要なレベルの重度障害者を雇用するのは私をはじめで、色々と相談しながらやってきたという感じです。私の就職を機に社内をバリアフリー化するためにスロープをつけてくれたり、エレベーターを改修して車いすで届く高さのボタンをつけてくれたりしました。きっと来社されるお客様にとっても優しい会社にな

ったと思います。

私の業務内容は、主に重度重複障害がある小児で発語・発話が難しい方向けにコミュニケーションを支援する機器の卸をしています。他にも特別支援学校の教員やセラピストさん等に製品の使い方などのセミナーを実施したり、国際福祉機器展などのイベントに出展したり、カタログ等の販促物を作成したり、最近では YouTube もはじめたりと幅広い業務をしています。

入社当初は、週 5 日出社していましたが、通勤には 2 時間半かかります。駅が有人改札になる 6:20 に改札にいたら 6:34 発に乗せてくれるという交渉をして通勤していましたが、ヘルパー利用ができないので単独で通勤していて、悪天候の日には濡れで出社したことを機に天候不良時は在宅にしてもらい、その後、褥瘡ができてしまったことを機に在宅勤務で週 2 日程度の出社という勤務をしていました。その後、コロナ禍になり完全テレワークになりました。もう約 3 年は 1 度も出社していません。普段は、パソコン内のバーチャルオフィスに出社し、オンラインで朝礼や会議・打ち合わせ、セミナーを行っています。私は東京勤務ですが、同じ部署の人は大阪勤務ということもあり、コロナ前から遠隔で働いていたのでそれほど大きな変化はなく、オンライン環境が整ってより働きやすくなったという印象です。

私の多くの業務はパソコンがあればできる業務ですが、細かい部分に介助が必要です。

### 職場介助制度について

全国に先駆けて、さいたま市が独自に始めた「重度障害者等就労支援事業」があります。ちょうど上記の理由で在宅勤務が増えてきて、その時の介助体制に悩んでいる時期でした。通勤には 2 時間半はかかるので職場から人手を派遣してもらおう訳にもいかないし、かといって両親に頼るのも違うし、お昼休みだけの支援では身体の姿勢を変えたり除圧したり

できないのでまた褥瘡ができてしまう…と悩んでいた時にこの制度を知りました。私はこの制度ができた2年目に申請をしました。指定の書類を会社と自分で記入して、業務内容で介助が必要な部分を洗い出して申請をしました。距離的に会社からの人の派遣が難しいことと、実際に褥瘡で業務に支障をきたしていたことが認められる要因になったと思います。これにより在宅の就労時にヘルパーを利用できるようになり、それまでの重度訪問介護の支給時間数に、在宅での就労時間がプラスされるイメージで許可が下りました。年に1回、自宅に担当者が来てヒアリングがあり、再審査があります。

ヘルパーさんにやってもらう業務内容は日々異なりますが、除圧や水分補給、トイレ、体温調節の着替え、メモ、印刷・スキャン、郵送物の準備・発送、ページめくり、パソコンの配置替え、取り扱い機器の準備や操作等多岐にわたります。

制度が利用できるようになったメリットは、細々したことを遠慮なく頼みたいタイミングでお願いできることだと思います。あとは体調不良時や褥瘡が怪しい時はベッドに横になったまま仕事をしています。ベッド上だと腕が上がりなかつたりできないことが増えるので助かっています。

デメリットは、ヘルパーの力量に左右される部分があるところです。生活の介助でも同じことが言えるかと思いますが、口頭の指示だけで伝わる人、スマホにメモして見せれば伝わる人、写真や動画を駆使することもあります。さらに相性もあると思います。もちろん私の業務内容がヘルパーの本業ではないので難しいことがあることも理解しています。なので、この業務をするならこの人の時が良いな等、締切を考慮しながらタスク管理をすることが必要です。あとは個人情報の管理、守秘義務をどこまで理解してくれるかが重要だと考えています。お客様からの問い合わせ対応や書類でも個人情報を扱うことがあります。私の仕事場で見聞きしたことは他で口外しないように伝えていますが、きちんと伝わっていないなど感じることもあります。そこをどれだけ理解してもらえるかはこちらの責任だと思っています。

## 残された課題

通勤時、出社・出張時の利用が課題であると思います。通勤ラッシュ（ピークは避けていても）で人に押されて電動車いすが横に動くしドアから押し出されそうになるレベルを単独通勤は結構危険を感じる毎日でしたし、駅から会社までの移動も約20分、雨ならカッパや傘が必要になるし、真夏は体温調節ができないので熱がこもってしまいます。出社するまでのハードルが高くて、精神的にも肉体的にも疲弊してしまいます。誰かがいてくれたらもう少し気楽な気がします。また、さいたま市の制度は出社時は利用できないので、社内で手伝ってほしいことがあっても忙しい同僚に声をかけるのは気が引けてしまいます。印刷等、誰かがちょっと手伝ってくれたら仕事しやすいな、もっと効率良いなと思っても、頑張れば何とか自分でできる業務は自分でやろうとか、正直、帰宅してからやっていた業務もありました。

あとは出張時の介助です。現在は母が同行してくれて、その費用（交通費、宿泊費）は会社が負担してくれていますが、母も高齢になり移乗もしんどくなってきていていつまで大丈夫だろうかという状況だし、介助中の費用負担はないのでタダ働きさせてしまっていて良くないなと思っています。出張で慣れない環境で仕事をしているからこそ、いつも慣れているヘルパーさんがいてくれたら心強いし、ちょっと気が楽だと思います。

さらに制度利用には現在、週10時間以上という条件があります。20時間以上から10時間以上になり対象者は広がったと思いますが、もっと短時間からの雇用も対象になったら働ける方もさらに増えると思います。短時間でも働きたいと望む人が誰でも当たり前のように働けるようになってほしいなと思います。

## 仕事の時間中にヘルパーさんの介助を受ける為に

香川頸髄損傷者連絡会 会長 毛利 公一

### 私の身体的な現状

私は、2008年7月17日、アメリカカリフォルニア州のラグナビーチで受傷しました。原因は、海への飛び込みです。私がケガをしたビーチは、急な勾配があり、水際から1~2メートルの所から泳ぐことができるぐらいの水深がある場所でした。私は、海へ向かってビーチを駆け降りて、水際から水泳の飛び込みのような形で頭から海面に向かって飛び込みました。私が飛び込んだと同時に、波がせり上がっており、それがちょうど壁のようになったのでしよう。私は波という壁にぶつかった瞬間、固いものに頭をぶつけたような感覚がありました。その時私の頸椎は3番目が、大きく脱臼骨折をしたのです。

受傷後の診断は、C3レベルの頸髄損傷で完全麻痺でした。当時は、完全に呼吸も止まっていた。

2022年現在は、首から上は自由に動きます。首から上でチンコントロールの電動車椅子の操作や、特殊マウスでパソコンの操作等を行って、生活や仕事を行っています。

### 現在の生活環境と就労環境

まずは生活環境からお伝えします。私が利用している障害福祉サービスは、居宅介護事業の重度訪問介護サービスです。これは訪問介護員さん(ヘルパーさん)が、私の自宅内やプライベートの外出先において、着替えや入浴、食事、排泄、室内掃除等を行う介助をします。私が市から認められている時間数は、1ヶ月あたり145時間です。なお、1週間に3回の入浴と、1週間に2回の歩く練習を行う時間帯は、2人介助(ヘルパーさん2人体制)となります。

ヘルパーさんの介助を受けるのは、基本的に平日9時~18時までです。それ以外の土日や夜間帯は、家族(妻及び両親)にお願いしています。私はあえてこれまで17年間この体制を頼んでいます。なぜなら、家族が私の介助方法を全くわからなくなると、緊急時にたちまち困るからです。急遽逃げる、避難

場所で何日か生活すること等を考えると、今の形がよいのでは無いかと考えています。

次に就労環境についてお伝えします。就労環境を整える為に、まず私は「一人暮らしをしない」ことを決断しました。ただし、これは仕事が軌道にのるまでと決めていました。しかし、軌道に乗ったものの、さらに忙しくなり、効率的に動く為にも現在も実家で生活をしています。

さて、現在の私の仕事は、会社経営です。社会福祉法人ラーフと株式会社モーリスを経営しています。前者は、介護保険事業及び障害福祉サービス事業を11事業所展開しています。後者は、福祉専門のものづくりと福祉コンサルタントをしています。どちらの仕事も、基本的に自宅のベッドの上で、パソコンを使って行います。もちろん必要に応じて、出張や施設回り、講演活動等で外出します。今はプライベートの外出はほとんどなく、仕事に関係する外出ばかりです。

以上のような仕事をこなしていく為に、2022年1月から、職場介助者の制度を活用し始めました。正式名称は、重度障害者等就労支援特別事業です。この事業のサービスを活用して、仕事の時間にもヘルパーさんの介助を受けることができるようになりました。具体的には、パソコンをセッティングする、プリンタをつける、パソコン入力、仕事上の外出等仕事をする為に必要な介助を全てお願いできるようになりました。ちなみに、当該事業は、2020年の10月から国のモデル事業としてスタートしましたが、全国で当該事業をスタートさせると手をあげた自治体(市)は10自治体程度でした。

私が生活の観音寺市は、2021年7月から制度化されました。現在私は、重度訪問介護サービスの時間数145時間中の80時間が仕事にヘルパーさんの利用可能となっています。



### 導入に至った経緯と必要であった交渉

上述した通り、モデル事業として始まった時、私はすぐにでも利用したいと考えました。私は仕事に介助者がいなければ、1人ででき無いことがいろいろとあるからです。しかし、当初観音寺市はこのモデル事業に手をあげて無い状態でした。そこで直ぐに観音寺市へ交渉に行こうと考えましたが、行動する前に2つのことを準備しました。

1つ目は、交渉に行く仲間です。1人で行くより複数で行く方が、交渉力が増します。なぜなら、個人的な意見なのか、集団的な意見なのかの違いです。そこで、重度の障がいがありながらも、働きたいと思っている仲間を探しました。2021年2月に仲間を見つけ、働きたい2人の思いや介助が必要な具体的な業務をまとめました。そして翌月、観音寺市社会福祉課と会談をしました。ここで一つだけ注意ポイントがあります。最初は必ず担当の課に交渉をすることです。会談後、観音寺市はとても理解してくれ、3月の交渉から3ヶ月後の7月1日から制度化となりました。この観音寺市の早さは素晴らしいと思いましたが、大変感謝しています。

2つ目は、人材探しです。ここで考えられた問題は、「担い手不足」です。私はラーフという事業所を運営していますが、ラーフだけでは私の時間数全てはサービスでき無い状況でした。他の事業所にも協力をお願いしようと思いましたが、私の業務上、ラーフの法人全体の情報が外部に漏れる危険もあるため断念しました。そこで、新たに1人以上私専属でお願いできる人材を探しました。その為のホームページを作ったり、Facebook等で呼びかけを行いました。これらの記事を読んでもくれた友人からの紹介で、呼びかけを始めて3ヶ月目に1人見つけることができました。香川高等専門学校卒の20代男性。彼に重度訪問介護員養成講座を受講してもらい、晴れて1月から一緒に行動することになりました。

### 実際に活用して感じたメリット

- ・業務速度が上がり、ストレスが下がりました。
- ・9時から18時までの安心感が増しました。
- ・家族の自由時間が増えました。

### 実際に活用して感じたデメリット

- ・業務によって、仕事上の情報漏えいの恐れ
- ・ヘルパーさんへの気づかひが増えました。

### 職場介助制度に残された課題

3つあると考えています。1つ目は、人材の課題です。自分自身がヘルパーさんに求める能力の基準を考えておいたら良いと思います。私の場合は、パソコンの能力が私より上であることでした。2つ目に、セルフコーディネート能力です。休日や業務休憩をいつ取ってもらうかを考えてコミュニケーションをとる必要があります。3つ目は、今住んでいる市の財政状況です。ここが一番難しいかもしれません。十分な予算が無い場合、なかなか制度ができ無い場合が考えられます。現状私は観音寺市の制度を利用しているので、観音寺市が辞めてしまう場合は、無力かもしれません。

### 課題を解決するための意見や提案

現状、全国ほとんどの地域で介護人材は不足しています。介護人材にとらわれず、全く違った分野の方に声をかけるのが良いと思います。また、声をかける為の発信力(SNSやホームページ、うまく伝える力等)を付けて欲しいと思います。これらのことで上記に述べた1つ目2つ目は解決に向かうでしょう。3つ目は、職場介助制度をアップデートしていく必要があります。その為に現状国のモデル事業となっているものを通常の事業になってもらわなければいけません。そうなるには、私達障がい当事者がどんどん活用することや、必要性を国や社会に向けて発信していくことが求められます。

### 現在の取り組み(挑戦)

今、「いのちを見守るセンサーの商品化」と「重度障がい者が安心安全快適な布団システムの開発」に取り組んでいます。世界の障がい者を救うことができるような商品を作っていきたいと思っています。またホームページやFacebookを見てくださいね。

<https://mori2.co.jp>

## 障害者介助等助成金を活用した就労

全国頸髄損傷者連絡会 宮野 秀樹

### 自身の障害と生活環境

自らの不注意による交通事故により頸髄損傷（C4）・四肢完全麻痺となって29年が経ちました。鎖骨より下部は完全に麻痺しているため、首から上の残存機能を使ってチンコントロール式（顎での操作）電動車椅子に乗って生活していましたが、現在はヘッドコントロール式（頭での操作）電動車椅子を使用して生活しています。

地域自立を目指しひとり暮らしを始めて18年が経ちます。2020年4月に住み慣れた兵庫県を離れ、沖縄県那覇市に移住しました。兵庫県では戸建ての賃貸住宅に住んでいましたが、沖縄県では賃貸マンションに住んでいます。介助制度は、平日1日14時間と土日1日24時間の重度訪問介護サービスと、自動車事故対策機構（NASVA）の介護料（脊髄損傷特I種）による平日1日6時間の介護サービスを活用しています。平日のみ4時間足りないだけで、ほぼ24時間の介助サービスを受けています。

### 現在の就労環境

障害福祉サービス事業に携わって約20年になりますが、12年前に重度障害者の自立支援と権利擁護活動を行うNPO法人を自らが立ち上げました。当初は理事長職に就いていましたが、8年前に後進にその職を任せ、障害者に関する社会活動やテクノエイドの普及啓発活動、教育活動を行いながらNPO法人の事務局サポートを務めてきました。

NPO法人が沖縄県で新規事業立ち上げを計画し、その陣頭指揮を行うため自らも沖縄県に移住し、現在は障害福祉サービス事業所の管理者として働いています。9:00-18:00を基本として週平均40時間の労働をこなしています。業務内容は、事業所の経営が主です。運営をスムーズに行うための管理を行いながら、介助サービスが適正に行われているかをチェックし、スタッフのシフト調整や労務管理を行っています。文書作成が業務の大半を占めています。

事業計画や事業報告の作成、従業者・利用者の契約書類作成、各機関への届出事務や手続きに必要な書類作成、会議のレジュメや資料および議事録の作成、各種研修（採用時研修、従業者研修、スキルアップ研修、重度訪問介護資格研修）の資料作成があります。その他にも、利用者とのサービス利用契約、従業者との雇用契約、求人応募者の面接、障害者や従業者の相談対応、事業に関連する機関や団体との会合への出席、そして、これら全てにその記録として報告書作成を行います。コロナ禍となってからは、事務所への出勤がなくなり在宅勤務が中心となりましたが、リモート会議やリモート面談の予定が移動の代わりに隙間なく埋まっていくので、以前よりも忙しかった感があります。

### 職場介助制度導入の経緯

法人立ち上げ当初は、全ての業務をほぼひとりでこなしていましたが、スタッフが増えるにつれて業務を振り分けることで、私はサポート業務に回るようになっていました。ところが、沖縄での新規事業を立ち上げたことで、また多くの業務を担当することになったわけです。若い頃はひとりでパソコンに向かい黙々と作業をこなしていましたが、50歳にもなるとさすがに処理能力が低下し、介助に頼る割合が高くなりました。そこで、2020年10月から労働と福祉の新たな枠組みとして作られた「雇用納付金に基づく助成事業の拡充策（労働施策）」と「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業（福祉施策）」のどちらかが活用できないか検討し始めました。那覇市では、福祉施策の職場介助制度は実施していないので、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下、JEED）が実施している、障害の種類や程度に応じた適切な雇用管理のために必要な介助等の措置を実施する場合に、その費用の一部を助成する「障害者介助等助成金（以下、助成金）」を活用することにし、申請の準備を行いました。

## 障害者介助等助成金の申請

申請は、2021年6月から準備を開始しました。申請に関してJEEDに問い合わせたところ、申請には障害者手帳に「上肢と下肢それぞれに障害等級2級以上の表記」が必要であることが判明しました。すでに所持している手帳には「頸髄損傷による四肢麻痺、体幹の機能障害により座位不能(1級)」と記載されており、それが上肢や下肢の障害を表していることを説明したのですが、あくまでも上肢と下肢それぞれに障害があることが記載されているか、もしくは記載されていない場合は、医師の診断書にその旨を記載してもらって提出をしないと申請は受け付けられないとのこと。コロナ禍であったため、病院受診は避けたいところでしたが、無駄な時間を費やすのは避け、整形外科を受診し、医師に説明して上肢・下肢に1級相当の障害があることを記載した診断書を書いてもらいました。申請日の翌月からが助成金の対象となるため、8月に職場介助者の配置を行い、9月受給を目指し必要な書類を揃えて提出しました。助成金のパンフレットには「助成金受給が認定されてから介助等の措置を実施」と流れが書いてありますが、実際は介助者を配置した上で申請しないと認定審査はしてもらえません。気をつけるべきポイントです。

助成金には4種類の助成内容があり、私が申請した「職場介助者の配置および委嘱助成金」は、事務的業務に従事する重度視覚障害者または重度四肢機能障害者の業務遂行のために必要な職場介助者の配置または委嘱を行うといった概要のものです。助成金の支給限度額は15万円で、助成率は3/4であるので、限度額の15万円の支給を受けようとする場合、職場介助者には20万円の給与を支払う必要があります。支給期間は10年間であり、延長や再申請はできません。職場介助者として登録できるのは1名のみ。助成金支給請求できるのは6ヶ月経過してからですので、半年間は職場介助者に会社負担で給与を支払わなければいけません。

認定申請を行って2,3ヶ月経った頃、申請の窓口となっているJEEDの都道府県支部から「認定申請書についての疑義」が送られてきます。申請書に書

いた文章に関して、内容や意味がはっきりとしないことがあるので、本部から説明回答してほしいという文書が届きます。窓口担当者によれば、この「疑義」は必ず送られてくるそうです。最低でも2回は送られてくると考えておいたほうがよいでしょう。後述しますが、私も疑義に対しての回答を6回送りました。これらのやり取りを経てようやく助成金の認定が決定しました。

## 職場介助の内容

助成金申請時に「障害による就労上、困難となっている課題」を挙げる必要があったので、就労中に困っていることを申請書に記載しました。以下にそのいくつかを紹介します。

- ・資料作成時、WEB会議時、研修時のパソコンセッティングとパソコン作業（キーボードでの文字入力、アプリケーションソフトの操作）が上肢麻痺によりひとりで行えない。
- ・相談支援業務の際の電話セッティングやリモート面談でのパソコンセッティングがひとりで行えない、それに付随する必要事項のメモやパソコンでの文字入力がひとりで行えない。
- ・求人応募への対応（求人応募の電話を受ける、求人応募者面接時の会場・書類等セッティング）がひとりで行えない。
- ・就業中に水分摂取や食事や排泄をひとりで行うことが困難である。

そして、前述した課題にどのような介助が必要かの説明も記載したので以下に紹介しておきます。

- ・書類作成には、直接紙に代行で書くことはもとより、パソコンで書類作成するにあたり、パソコンの電源スイッチを入れ、マウスを操作してアプリケーションソフトを開くことや、画面が見やすい位置にセッティングする介助が必要であること、そして入力代行の介助が必要である。
- ・パソコン作業を行う際には、作業にあった姿勢にするため体を前傾させたり、クッションを入



れて姿勢を変換させる介助が必要である。

- ・会議や研修を開催する際には、事前資料作成の補助（入力代行やコピー）が必要である、対面式で行う研修や会議時には資料配付をしたり、パソコンセッティングや PowerPoint 資料の操作、議事録作成のための入力代行の介助が必要である。
- ・リモート研修や WEB 会議の際にも、一連のパソコン作業に対する介助が必要である。
- ・求人応募者の面接には、面接時の書類配布や必要事項のメモをとる介助が必要である、採用時の契約には、契約書作成の補助、契約内容説明のため書類のセッティングの介助が必要である。
- ・相談支援業務には、電話やパソコンのセッティングや必要事項のメモとパソコンへの入力代行の介助が必要である。
- ・休憩時に昼食をとる際の配膳準備や食事介助が必要である。

認定審査を行う人たちが重度障害者の就労環境や実態を知らないかもしれない、そのように想像しながら、四肢麻痺（首から下が動かない障害であることも明記）ゆえに就労時にあらゆる面で介助が必要であることを詳細に説明しました。

### 認定申請書に対する疑義

申請の窓口となっている JEED の沖縄県支部から届いた、本部からの「認定申請書についての疑義」とそれに対して行った回答の一部をここで紹介したいと思います。なお、回答の文章に「対象障害者」とありますが、それは職場介助を必要とする障害者（私のこと）を指しています。

疑義：職場介助者の業務に「電話対応の際、…メモ等をとる」とありますが、介助者が受話器を障害者の耳に当てた状態でメモを取ることができるでしょうか。電話中のお二人の状態の詳細をご教示ください。

回答：市販されている電話機やスマートフォンには「ハンズフリー機能」が標準装備されていま

す。かかってきた電話は、ハンズフリーで受けて、受話器（電話子機や携帯電話）は対象障害者の前のテーブルに置いています。介助者は受話器を持つことがないため両手は使えず、資料を見せながら対象障害者の都度の判断と指示に基づきメモを取ります。個人情報などの「守秘義務」にかかる内容を話す際の電話は、対象障害者はイヤホンマイクを装着し、介助者は対象障害者の都度の判断と指示に基づき、対象障害者が相手に「記録したい」旨を伝えて、口述した内容をメモに取ります。

疑義：業務内容に「会議中は必要な事項を記録する」とあります。これは、介助者が主体的に記録することになるので、対象とならないと考えられます。

回答：対象障害者が出席する会議は、他機関・他団体・他事業所の者がいる場合でも、対象障害者が会議中に介助者に指示して議事録に必要な事項やメモ書きをパソコンに入力代行する際に、口頭で指示することや、そのために会議が中断してしまうことも理解され行われています。これらは対象障害者の都度の判断と指示に基づき行われるため、介助者が主体的に記録することは一切ありません。

疑義：職場介助者の業務に、上司から部下へ指示される業務が含まれています。例えば、「面接時の会場のセッティング」は、面接官の仕事ではなく、部下の仕事だと思われます。

回答：面接時の会場のセッティングとは、対象障害者が机のどの位置につくか、面接者がどの位置に座るのかを決め、対象障害者の都度の判断と指示に基づき椅子や机の配置を行うことです。その際には、対象障害者が見えやすい位置にパソコンや面接時に使用する資料を、対象障害者の都度の判断と指示に基づきセッティングします。部下に命じて、部下が主体的に行うものではありませんし、職場介助者が主体的に行うこともありません。

疑義：「体を前傾させて腹圧をかけて話す際の姿勢保持介助」は、職場介助の対象になりません。

回答：対象障害者は、麻痺ゆえに横隔膜の動きが弱く、発声が小さいため聞き取ることが困難なことがあります。体を前傾させて腹圧をかけることにより声が出やすくなり、以下の業務が円滑に遂行できるので、姿勢を保持する介助は必須の介助です。

①資料作成時の介助者への都度の指示

②求人応募者の面接

③対面やWEBで開催する研修

④対面やWEBで開催する会議

※上記の介助が、文字では伝わりにくいので、検討の参考にしていただきたく、動画を作成しました。動画のURLを添付いたします。ご覧ください。

疑義：「昼食の配膳」は、配膳係（調理者）の業務です。介助者がお皿などを食べやすい位置に並べ替えたり移動したりするという理解でよろしいでしょうか。

回答：対象障害者は全介助（自分の手を使って食べることができない）であるため、弁当や購入したもの等の食事や飲み物等を、あらかじめ、本人の前に用意し、介助者の食事介助により食べます。弁当等や飲み物を本人の前に運び準備することを「昼食の配膳」という表現にしました。「自分で食べる」ことを補助することではありません。

これらは一部の疑義と回答です。疑義の多くは、重度障害者であることが伝わっていないがゆえに、介助内容やその介助の意味が理解できていないことが伺えます。また「職場介助者が主体的に行っているのではないか？」と疑う質問も多かったため、全ての回答に「対象障害者の都度の判断と指示に基づく介助である」ことを強調しました。この疑義に対する回答は6回行いましたが、相当な労力を要しましたが、助成金受給には厳格な審査が必要なのは理解できますが、精神的疲労の強い認定申請でした。

## 障害者介助等助成金の課題

私が申請した「職場介助者の配置および委嘱助成金」は、支給対象となる措置として、職場介助者は1名しか配置できません。通常の介助を想像しても、介助には複数名で交代しながらあたるのがベストです。助成金の措置では、配置した職場介助者が何らかの理由で休んだ場合、就業中の介助を受けることができません。これこそが本来助成金で改善すべき「障害による就労上、困難となっている課題」に該当していると考えられます。

また、助成金は障害者雇用の促進や継続を目的としているはずですが、重度障害者の置かれた環境や必要な介助に対する理解が乏しいように感じました。「どうすれば働けるか」に着目してJEEDには認定審査にあたってほしいです。

## 障害者介助等助成金への要望

JEEDが行っている障害者雇用納付金制度に基づく助成金事業は、障害者雇用の促進・継続に貢献するだけではなく、障害者の権利や尊厳を保障する観点からも大変重要な取り組みであると考えています。

今回、私がJEEDとの疑義に対する回答のやり取りから感じたことは、障害者の就労形態や就労環境、職場介助の実態は、書面だけでは伝えることは困難だということです。「重度障害者は適切なサポートを受ければ、その人が持つ能力を最大限に発揮できる」という説明は、言葉や文章では簡単に表せますが、それらをイメージして理解してもらうことは、多くの知識を必要とし容易ではありません。当会の活動においても「障害者の社会参加に対する理解不足」が権利や尊厳を奪って社会参加が阻まれてしまう場面を目の当たりにすることが多々あります。

今後、障害者雇用をより深く理解し促進していくためにも、障害者が実際に働いている職場訪問や職場介助者が介助する様子を見学することを提案したいと思います。

そして、我々頸髄損傷者も生活する上での介助者確保が困難な現状ではありますが、就労の機会を獲得するためにも、このような助成金や制度を活用して拡充させる必要があるのではないのでしょうか。

## ヘルパーサービスを利用しながらフリーランスで仕事

～ どんなに重い障害があっても働ける可能性のある制度 ～

京都頸髄損傷者連絡会 木村 善男

私は1964年生まれ。二十歳の時に起こしたバイクの自損事故で、頸髄損傷者になりました。瞬間脱臼で頸髄を痛めたため、手術もしていませんし、気管切開もしていません。(受傷レベルは5番かな?) 現在は、ヘルパー派遣制度を24時間利用しています。

京都頸髄損傷者連絡会は、30歳ごろに入会し、30年近く障害当事者運動を続けています。

以前は、ヘルパー派遣事業所のコンサルタント(主に研修担当)をしていたときもありますが、「今」は、無職です。

長年、行政に対して「障害者ならではの仕事を作ってほしい」と訴え続けてきたが、実現できそうな制度が京都市で始まりました。

2021年9月1日から「京都市重度障害者等就労支援特別事業」が開始され、職場や通勤でヘルパー利用が可能というものです。重度訪問介護、同行援護、行動援護を使っている人が対象者であるものの、就労継続支援A型B型は含まれず、一般就労向けの制度であり、障害者を雇用する事業主がJEEDに対し、助成金の支給申請手続を行う必要がある等の条件もあるため、使い勝手が非常に悪い。が、しかし、この制度は自営業も含まれるとのこと。ということは、ヘルパーサービスを利用しながら障害当事者ならではの研修会や講演活動を仕事として引き受けると、チラシや名刺を作成して自分を売り込んでもいいのか・・・な?

早速、京都市の保健福祉局障害保健福祉推進室に電話をして確認したところ、「制度が始まったばかりということもあり、検討させてほしい」ということ。自営業のイメージとしては、例えば、企業から委託されて自宅でパソコンの作業をする、というものだそうです。

その後はメールでやりとりをし、具体的に仕事のイメージをつかんでもらうのに、かなり時間が

かかりました。大雑把に言えば、「ヘルパー派遣事業所の研修会に講師として招かれたり、大学で車イス体験やゲストスピーカーをしたり、これまでは、ボランティア(謝礼金をもらうこともあるが)として行っていたが、チラシを作り自分を売り込み、仕事にしたい」といった内容。

9月26日に電話をかけてから、条件付きで認められたのは、1月27日でした。

条件付きというのは、「木村様のように、本事業での支援を利用し、新たに就労を始める方について、要綱第4条第2号に「就労の継続及び所得の向上が見込まれるために本事業の必要性が認められること」とあり、本事業を利用することで収入を得ることにつながっているかどうかの確認をする必要があります。

その方法につきましては、支援が開始された月以降、毎月の就労の状況を記載した書類等を提出いただき、確認させていただければと存じます。

毎月の就労の状況を確認させていただき、支給決定の半年後を目途に、本事業の利用で収入が発生していなければ、所得の向上が見込まれないと見なし、要綱第11条により事業利用を辞退いただくこととなりますが、御了承ください。」といった内容のもの。

自分を売り込むためのチラシや名刺を準備中。コロナの影響で、対面では難しく、リモートだけでは、どの程度の需要があるのか心配です。

宣伝には、YouTubeを活用する予定。

チャンネル名：Wheelchair User Yoshio

自分自身で仕事を作っていくのは、大変だけど面白い。準備が整い次第、タイミングを計って仕事を開始する予定です。

応援よろしくお祈りします!

## 職場介助制度の解説

島本義信

### はじめに

頰損 No.134 号で紹介した「重度障害者の就労支援策」で、2020年10月から、労働施策である「雇用納付金に基づく助成事業の拡充策※1」（以下、「拡充策」）と福祉施策である「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業※2」（以下「特別事業」）として労働と福祉の2つの制度・枠組みが作られることとなったことをお知らせしました。

しかし、2020年度は福祉施策である「特別事業」を市町村が実施することが必要であり、「実質的に市町村の単独事業（事業費負担）になるので実施は難しい」という反応でした。

2021年度から、「地域生活支援促進事業（市町村）」になり、市町村での事業実施の可能性は広がり、特別事業費も国が1/2、都道府県が1/4を負担し、市町村が1/4を負担することが決まり、市町村がやる気にさえなれば、実施できるといえます。同時に私たち頰損者も行動に移し市町村にやる気を出させていかなければなりません。

### 対象となる障害者の範囲

1. 対象者は、重度訪問介護、同行援護、行動援護の支給決定を受けていることを基本にして、週10時間以上勤務している障害者  
ただし、公務労働関係、議員活動はすべて排除
2. 「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業」では、労働者だけでなく、自営業者や法人代表も対象となっています。

（注）自営業や法人代表の場合、雇用納付金に基づく助成金制度を使うことはできないが、「自営業等」については、全部の時間が福祉の「特別事業」の対象になります。

（注）従来からある雇用納付金に基づく「障害者

介助等助成金」では、重度視覚障害と四肢麻痺のみで、週20時間以上勤務が条件になっている。（こちらの制度も継続）市町村が、特別事業を実施しなければ、従来の制度を使わざるを得ません。

### 支援対象範囲とサービス

1. 民間企業で勤務されている場合

#### 1-①. 職場介助について

例) 文書作成やPC機器の操作、仕事関係資料の代読など障がい者が主体的に業務を遂行するために必要な業務に関する介助 → 拡充策（労働）  
仕事のための外出 → 拡充策（労働）

例) 上記以外の体位変換、食事、排せつ、安全確保のための見守りなど（痰吸引等の医ケア含む）  
障がい者が就労を継続する上で必要不可欠な支援 → 特別事業（福祉）

#### 1-②. 通勤について

申請した年度および毎年度のはじめの3か月目まで → 拡充策（労働）  
4か月目以降について → 特別事業（福祉）

2. 自営業等で勤務されている場合

#### 2-①. 職場介助について

例) 文書作成やPC機器の操作、仕事関係資料の代読など障がい者が主体的に業務を遂行するために必要な業務に関する介助 → 特別事業（福祉）  
仕事のための外出 → 特別事業（福祉）

例) 上記以外の体位変換、食事、排せつ、安全確保のための見守りなど（痰吸引等の医ケア含む）  
障がい者が就労を継続する上で必要不可欠な支援 → 特別事業（福祉）

#### 2-②. 通勤について

申請した年度および毎年度のはじめの1か月目から → 特別事業（福祉）

## サービスの位置づけ、報酬金額と出どころ

1. 労働施策である「拡充策（介助、通勤）」については、介護にかかる費用（ヘルパーへの給与や必要経費）＝派遣事業所との「委託契約」で決めた派遣報酬に対する「雇用納付金に基づく助成金」であり、「JEED」（高齢・障害・求職者雇用支援機構）に「助成金申請」をおこなうことで支払われます。

「拡充策」（職場介助）の補助率は、大企業（週20時間以上勤務が100人以上）は4/5、中小企業の場合は9/10に拡充され、上限額は大企業13万3000円、中小企業は15万円。年限はありません。

「拡充策」（通勤援助）の補助率は、大企業（週20時間以上勤務が100人以上）は4/5、中小企業の場合は9/10に拡充され、上限額は大企業7万4000円、中小企業は8万4000円。

2. 福祉施策である「特別事業」について、報酬額は「重度訪問介護等に相当する金額」で、報酬の支払いは移動支援などと同じで、市町村に対して毎月「事業利用料」（「重度訪問介護に相当する金額」から、利用者負担を引いた金額）を請求す

ることで支払われます。各種加算はありません。

## 手続き

1. 市町村が、「特別事業」を実施することを求めて、事業を行うことが確認されなければなりません。

例）具体的な事例を検討し、必要であれば市町村に対して要望書を作りこの事業についての話し合いをおこないます。

2. 関係者間で支援計画を作る

例）本人と事業者で原案を作り、関係者（市町村担当者、本人、事業所労務担当者、事業所派遣担当者など）を集め会議を開いて支援計画書を確定し、その書類を「JEED」に提出します。

3. JEED から確認済みの支援計画書を受領し、市町村に対して、本人が特別事業の申請をおこないます。

4. 上記の JEED の受領確認印がある「支援計画書」を添付すると支援開始となります。

毎年度ごとに計画書作成と申請が必要となります。（年限はありません）

具体的な参考例として大阪市の「特別事業」としてスタートした「重度障がい者等就業支援事業実施要綱」の抜粋です。各市町村で「特別事業」が実施されるよう働きかけると共に実施要綱の作成も求めましょう。待っていても作成してもらえません。

※ 市町村で内容が異なる場合もあります。

## 大阪市重度障がい者等就業支援事業実施要綱

### 支援対象範囲

1. 対象者の就業中、就業に伴う移動中又は休憩時間中の介助（介助者が主体的に行う業務を除く）。令和2年度実施事業は就業時間中の「日常生活における介助」を対象としていましたが、令和3年度事業は「業務にかかる介助（業務介助）」も対象とします。

2. 就業支援の時間数は、民間企業（民間企業で雇用される者の場合）及び関係者が作成する支援計画書を用いて「業務介助等時間」と「その他

必要な支援時間」の時間数の目安を対象者、民間企業（民間企業で雇用される者の場合）、市町村等が協議し、それをもとに算定することとしており、「業務介助」に位置付けられる支援は雇用助成金による支援の対象範囲（※1）となるため、本事業においては次の部分が支援の対象範囲となります。

・民間企業に雇用されている者 → 原則、「その他必要な支援」のみ

・自営業者 → 「業務介助等」と「その他必要な

支援」の双方

3. 通勤の支援は、民間企業に雇用されている者の場合は当該年度のはじめの3か月間は雇用助成金による支援の対象範囲となるため、本事業は4か月目からの支援を対象とします。自営業者に対しては1か月目から対象とします。

4. 民間企業に雇用されている者において、雇用助成金による支援の対象範囲であっても、次のものは本事業の対象とします。

- ・公共交通機関を使用しない通勤（助成金の対象外）※1か月目から

- ・業務介助に該当するが、助成金の限度額または企業負担による可能な限りの支援を超過した部分

5. 在宅就労も支援の対象とします。

#### 支給時間数

1. 申請前に、本市、対象者、民間企業（民間企業で雇用される者の場合）により協議を行い、支援計画書を作成します。その計画書にて確認された時間数を支給決定します。

2. 時間数の上限は設けません。

3. 障害福祉サービス（重度訪問介護、同行援護、行動援護）において2人介助が認められた場合は、本事業においても2人介助を認めます。（その時間帯は時間数が2倍になります）

#### 就業支援事業者

1. 重度訪問介護、同行援護、行動援護のいずれかの指定を受けている者。ただし、本事業において就業支援事業者が支援を提供する対象者は、当該事業者が指定を受けたサービス（重度訪問介護、同行援護、行動援護）の支給決定を受けた者に限ります。

2. 就業支援事業者の所在地は問いません。（本市以外の指定を受けた事業者も可）

#### 利用者負担と上限額管理事務

1. 利用者負担額と月額負担上限額設定 原則とし

て利用者負担1割の定率負担とします。（例：1時間→単価に応じて220～400円）ただし、所得に応じて次の区分の月額負担上限額が設定され、それ以上の負担は生じません。

生活保護 低所得	生活保護受給 世帯 市町村民税非 課税世帯等	利用者負担なし (月額負担上限額 0円)
一般	市町村民税課 税世帯	1割負担 (月額負担上限額 3,000円)

- ・重度訪問介護等、障害福祉サービスの利用者負担とは別に負担を求めることとなります。

#### 申請から支給決定

1. 支給の申請 → 聴き取りの実施 → 事前協議 → 支給決定

2. 民間で就労の場合、市で実施することが決まれば申請と同時に、JEED（高齢・障害・求職者雇用支援機構）側への申請も必要になります。

#### おわりに

重度障害者（重度訪問介護の利用者）で働く希望を持っている方、自分自身の通勤や職場で介助がどれくらい必要なのかを具体的な形で考えてみましょう。また、すでに労働施策での助成金を利用している方についても、新規制度への切り替えを検討してみましょう。年数制限もありませんし、介助者の限定もありません。事業所の負担も少ないです。

新しい労働施策である「障害者介助助成金」「通勤援助者の委嘱助成金」への切り替えについても是非検討を始めていきましょう。そして、福祉施策については自分が属する市町村に対して「特別事業」の実施について話し合いを開始していきましょう。まさに、自分たちの権利を社会的な制度として獲得するために、後から続く仲間たちのために、しっかりと闘っていきましょう！



## 事務局からのお知らせ

全国頸髄損傷者連絡会事務局

### ○お知らせ（訃報）

2022年1月10日（月）、愛知支部の前会長である近藤実男氏が、2022年2月14日（月）に愛知支部の近藤光利会長がご逝去されました。お二人は、愛知支部の仲間をはじめ全国の頸髄損傷者のために会の運営にご尽力いただきました。故人の功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### ○春の全国代表者会議報告

2022年3月6日（日）に春の全国代表者会議を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない状況下であるため、前年と同様にオンライン開催となり、22名の代表者が参加しての会議となりました。

会議では、6月3～5日（金～日）に開催予定の全国総会・四国大会の準備状況が報告されました。前年の京都大会と同様に（公社）全国脊髄損傷者連合会との合同開催かつオンライン開催となります。6月3、4日が講演やシンポジウム等の合同企画、6月5日が全国頸髄損傷者連絡会の総会に決定しました。また、頸髄損傷者が直面する様々な課題について、参加者同士が自由に話し合い、情報提供・収集や課題解決を目指すセミナーとして始めた「To be yourself（自分らしくあるために）」の第1回セミナーの実施報告があり、「ひとり暮らし」をテーマに活発なディスカッションが行われたことが報告されました。

次回秋の代表者会議は、2022年9月4日（日）にオンラインでの開催が決定しています。

### ○頸髄損傷者の排泄基礎調査協力へのお礼

2021年12月20日から2022年1月9日にかけて実施しました「頸髄損傷者の排泄基礎調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。調査は、全国頸髄損傷者連絡会会員および全国脊髄損傷者連合会に協力いただき実施しました。調査方法は、調査協力に同意した人がWebサイト上に掲載されている質問に直接回答を入力するWeb調査を用いました。有効回答は129名でした。現在、アンケート調査結果をまとめ、分析し、冊子形式での調査結果報告書を作成中です。報告書は、頸髄損傷者の排泄の現状、排泄事例、頸髄損傷者の排泄基礎調査の結果、頸髄損傷者の排泄に関する課題と提言、といった内容にする予定です。

### ○全国頸髄損傷者連絡会総会開催要領の変更について

2020年度、2021年度の全国総会は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染対策および感染拡大を防止するためオンライン開催とし、総会資料を事前に会員の皆様に送付しご覧いただいた上で、皆様から出席の可否を含む委任状を返送いただく方法で行いました。本年6月5日（日）に開催される全国総会もオンラインでの開催となりますが、開催の要領につきましては2020年度以前の方法に戻すことになりました。

総会資料は、事前には送付せず、総会に参加する会員のみ配布します。会員の皆様のお手元には、総会の案内と総会出席の可否を含む委任状が届きますので、出席の可否を記入の上、欠席される場合は「議長に委任」する旨を記入いただきご返送ください。総会に出席される会員様には、総会資料がダウンロードできるようダウンロード専用URLを送付いたしますので、ハガキに記載されているメールアドレスに「お名前・所属支部」を記入の上送信してください。会員様への活動方針の説明や活動報告は怠らず、事務の負担軽減を目的に総会要領を変更することにどうかご理解くださいますようお願いいたします。また会員の皆様へは、全国総会にご出席くださいますようお願い申し上げます。

## 第49回 全国頸髄損傷者連絡会 全国総会 四国大会に向けて

愛媛頸髄損傷者連絡会 会長 井谷 重人

### ～全国総会四国大会について～

今年の全国総会は四国大会ということになりました。開催場所としては愛媛県、それを他の県に支えていただく形になるかと思えます。

そして昨年に引き続き、今年も完全リモートの開催ということになりました。前回の京都大会と同様に全国脊損連合会との合同開催になりますので、両団体が調整し、力を合わせていく所存です！

日程案は以下ようになっております。

#### ●6月3日（金）

受付 13:00-14:00

#### <公開講演①>

講話 14:00-14:50

演題：障害者総合支援法改正

～法施行後3年の見直しについて～

講師：厚生労働省

#### <シンポジウム①>

講話 15:00-16:30

演題：障害者ピアサポーター養成研修について

講師：未定

#### ●6月4日（土）

#### <公開講演②>

講話 13:00-14:00

演題：全脊連が実施した実態調査について

講師：全脊連役員

#### <公開講演③>

講話 14:30-15:30

演題：頸損排泄に関するアンケート調査について

講師：頸損連役員

#### ●6月5日（日）

#### <全国総会>

総会 13:00-15:00

撮影 15:00-15:10

タイムスケジュール、講演・シンポジウムについてはまだ検討段階です。コロナ禍ということもあり、いつ変更になるかわかりません。

講演・シンポジウムについては、「障害者総合支援法の見直し」について特に注目していただきたいと思えます。厚生労働省の方にご登壇いただき、見直しのポイントを話していただこうと考えております。「感染症対策の強化・業務継続への取り組み」などコロナ禍における対応についても挙げられていて、私たちの地域生活に直結する大事なお話が聴けると思えます。

総会と言えば、交流と開催地の観光も兼ねているものですが、今回はリモート開催ということで残念ながらそれらは叶いませんでした。昨年の12月には「このまま落ち着いてくれるのではないか？」と思わせてくれるような状況になっていましたが、オミクロン株によってその思いは打ち砕かれてしまいました。

前回の愛媛大会から、さらに進んだ観光地バリアフリー、バージョンアップした観光スポットを見ていただけなかった事は本当に残念です。



坊ちゃん列車が走る路面電車に、新しい低床車両も増えました。

### ～総会の記憶～

僕の総会の記憶はやはり2015年の愛媛大会です。実際に愛媛に来ていただき、ほぼ全員で松山城に登り、城山の頂上から松山市を一望するという体験ができました。あの取り組み後、松山城のバリアフリー化が進み、車椅子ユーザーがよりスムーズにお城へいけるようになりました。なかなか大変な登山になりましたが、あの時一緒に取り組んでくださった皆様には今でも心から感謝しています。



2012年5月 全国頸髄損傷者連絡会 全国総会 愛媛大会において約120名で松山城登山。

また、2017年5月には全国頸髄損傷者連絡会 全国総会 四国大会 おいでまい四国 ～瀬戸内の風を感じに～を高松市のサンポート高松で開催しました。

四国では毎年秋頃に「四国頸損の集い」という集まりを実施していて、四国4県の会員やその家族などが集まってバーベキューをしたり、それぞれの団体や個人の活動報告をしてきました。その結束力を活かす大会となりました。



宮野さん達が竹原ピストルを熱唱されていて、めっちゃ上手でした!

この大会は二日間の日程で行われ、二日目はオプション企画として、香川の毛利さんが観光プランを組んでくださいました。

- 高松港～男木島周遊&バーベキューツアー
- 丸亀城に登って石垣を堪能しようツアー
- 周辺観光案内

この三つの中から、僕は鬼ヶ島のモデルと言われる男木島に行って、子供のようにはしゃいでめっちゃ日焼けしたのを覚えています。



男木島ツアーの参加者で記念撮影。

### ～受け継ぐ想い～

岐阜で行われることになっていた前回大会ですが、岐阜県の会長をされていた山本さんの急逝により、開催地が変更されました。故山本会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

実は僕は岐阜県に二年弱住んでいたことがあったので岐阜大会をとっても楽しみにしていました。篠田さんに会いに行くのも楽しみでした。篠田さんとは、僕がまだ10代の頃、偶然にも勤めていた繊維会社にコンピューター関係のお仕事で来てくださっていて知り合いました。僕はその二年後に受傷し、さらに10年後、愛媛頸損での最初のお仕事、全国総会愛媛大会の開催でした。そんな、めっちゃくちゃ不安な時に篠田さんから連絡をいただき、同じ仲間としてこれからやっていけることを心から喜んだのを覚えております。

二回目の四国大会開催にあたり、山本さんや、岐阜の皆様のを少しでも受け継いで開催させていただければと思います。

## 支部の活動紹介

徳島頸髄損傷者連絡会 江川 尚志

### 支部の概要

徳島頸髄損傷者会（愛称：あわケイソンス）は、2014年に9名の仲間で活動を始めました。現在14名の会員（男性12、女性2）で活動しています。そのうち7名が、全国頸髄損傷者連絡会徳島支部の会員となっています。

徳島は、四国の東部に位置します。他県への移動は、航空機、JR、高速バスが利用できますが、コストや使い勝手の点で難しいところがあります。従って、主に県内の移動と同様に自動車を利用することが多いです。例会の参加には、自らの運転、家族の運転、又は介護タクシーを利用しています。

例会は、主に県央の徳島市にある徳島県立障がい者交流プラザで開催しています。会員は県内の各地に散らばっており、主な移動時間、距離はこのようになります。

県北部の鳴門市（国道11号16km）30分強  
 県西部の三好市

（国道192号74km）1時間45分  
 （徳島自動車道75km）1時間11分

県南の美波町（国道55号53km）1時間30分  
 時間をかけてでも、遠くからでも参加してくれている仲間のおかげで楽しい会を続けられています。

### 活動内容

主に年間4、5回の例会や行事を行ってきました。

- ・総会……3か5月
- ・春の行事……5か6月
- ・秋の行事……10月
- ・新年会……1か2月
- ・その他適宜例会

毎年年間計画はたてても、予定通りに開催できず、まだ軌道に乗っていないといえませんが、



### 特色ある活動

1 県内各地で例会や行事を実施

- ① 眉山（かんぽの宿徳島）…2014、15  
 徳島市のシンボリックな山です。ここで設立総会を開きました。



② 美馬市（四国三郎の郷）…2014、15、16

春の行事でBBQを行いました。香川や愛媛の仲間にも声をかけ、多くの参加者で親睦を深めました。





- ③ 鳴門市（大塚国際美術館）…2015  
秋の行事で訪れました。ガイドもついて、古今東西の名画を堪能しました。



- ④ 小松島市（みなと交流センター）…2016  
県南方面の会場で開催しました。近くに住む頸損の仲間にも呼びかけて、参加してもらいました。
- ⑤ 美馬市つるぎ町（障がい児通所支援事業所 こまち）…2018



会員ご家族の協力も得て昼食会を開きました。「手打ちそば」をおいしくいただきました。

## 2 会員宅への訪問

2014、15（2回）会員の住まいで茶話会や例会を開かせていただきました。実際の生活の様子やさまざまな工夫などにふれ、得るところが多かったです。



## 3 会員の技に学ぶ

例会の拠点となっている徳島県立障がい者交流プラザの多目的な施設を利用して、会員からいろいろと教えてもらいました。

- ① トールペイント実技講習会…2016  
トールペイントの紹介と初歩の実技指導の講習
- ② HP の作成…2017  
徳島頸髄損傷者会のホームページの施策と紹介をしてもらいました。（未だ up できずすみません。）
- ③ 車いすバスケットゲーム観戦  
体育館でのゲームを生観戦。解説もしていただき、パラスポーツへの興味が増してきました。

## 今後

残念ながらこの2年半ほど活動が休止状態になっています。なかなか会えない中で会員同士のつながりをどのようにつづけていくのか、手をこまねいている内に時間が過ぎてしまいました。また新たなつながりをつくっていかなくてはなりません。仲間と相談しながら見つけていきたいと思ひます。

## ミニ四駆 全国大会開催されるまでの道のり

HOSHIZORA CUP 2022 全国大会 ～今、ミニ四駆でひとつになる～

愛媛頸髄損傷者連絡会 三ツ井 真平

愛媛県支部の三ツ井です。C4の損傷で肩から下がマヒして動かない当事者であり、地元にある自立生活センター星空（以下、星空という）でも活動しています。今後ともよろしく願いいたします。

さてタイトルにもありますが、この度、星空主催でミニ四駆の全国大会をオンラインで開催しました。1年ほど前から星空ではミニ四駆が流行っており、ミニ四駆部というものを立ち上げ、R3年2月から年間通して部内で全6回の大会を行っています。



その大会を通じて私たちが得たものは、星空の中でもコロナ禍によって一人ひとりの関係性が薄くなってきていた中で、またみんなで一緒に楽しむ繋がりをつくることができたこと。そして、そんな繋がりを全国でもつくることができたらという思いから、この度オンラインでの全国大会を開催する流れとなりました。

星空内でミニ四駆が流行った経緯としては、愛媛頸髄損傷者連絡会会長、また星空の代表でもある、頸髄損傷当事者の井谷さんの幼少期の話にさかのぼります。井谷さんの家庭の教育はとても厳しかったようで、当時流行っていたおもちゃなど遊びで使うものはいっさい買ってもらえず、誕生日などは勉強で使う参考書を買っていたそうです。そんな幼少期を過ごし大人になった今、介助者と子供のころ何が流行っていたかという話から

ミニ四駆というワードがでて、「当時はやれなかったので大人になった今だからこそやってみよう！」という一言から始まり、そこに一人ひとり仲間が増え、今では部員16名ともなる星空ミニ四駆部が出来あがりました。

今、ミニ四駆は世間でも第4次ブームがきていると言われていますが、理由はコロナ禍でも在宅で出来るからということのようです。ブームがきている影響で、パーツを買うときも定価より値段が上がっているものが多いことが少し大変ですが、昔から今、そして現在進行形で進化しているミニ四駆の時代の変化も楽しみながら、部内の仲間と走らせて全員で楽しんでおります。

そんなミニ四駆は周りにも様々な影響を与えています。部内で開催されていた大会では毎回ドラマがあり、笑いに悔しさ、次は勝つという気持ちを芽生えさせてくれ、コロナ禍で沈みがちな気持ちを前向きにさせてくれたり、コミュニケーションというところでは星空内での会話がとても増えました。

また、ミニ四駆を買うために通っていた模型屋さんでは、お店の横にある屋外コースに最初は段差があり、車椅子では遠回りをしなければいけなかったのですが、通い続けるうちに店主の方が立派なスロープに改修してくれたのです。



そんな、嬉しい変化と喜びを提供してくれるミニ四駆を私たちだけではなく、「周りにも知ってほ



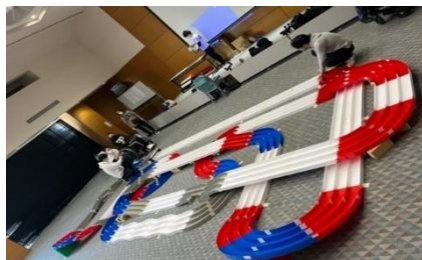
しい!」、「そこからいろんな人と繋がりたい!」  
という思いから、『HOSHIZORA CUP 2022 全国大会 ~今、ミニ四駆でひとつになる~』を企画し開催することになったわけです。



大会は、北は福井、南は鹿児島と幅広い地域から16名の参加者が集まり、星空ミニ四駆部員と併せて合計32名で開催されました。試合はすべてトーナメント式で1対1の勝負です。



また、今大会はオンラインということで各々マシーンを送っていただき、代理で走らせるという形でしたが、公平さを保つためのルールを考えることが一番苦勞した点です。今回は長年地元で模型屋さんをされながら、ミニ四駆の大会なども開催されている今治ミニ四駆倶楽部さんにも相談し、私たちだけでは気付けない問題点や改善点などもアドバイスをもらいながら大会を運営しました。



今治ミニ四駆倶楽部さんとは、打ち合わせを重ねる中で私たちの活動への思いを

知っていただき、その思いを応援していただける中で、大会の景品用ステッカーもいただきました。このように、今まで接点のなかった方たちと、大会を通じて知

りあい繋がりをつくることができたことが何より財産です。

残念ながら、試合結果は3/14からyoutubeで配信予定なのでこの場では言えませんが、白熱した試合が繰り広げられました。今から参加者の皆さんと試合を観るのがとても楽しみです。

このように、コロナ禍でより社会のオンライン化が進み、様々なイベントが現地に行かず自宅から参加できるようになりました。また、コロナ禍が終息したとしても、こうした大会や講演会などは継続されていくと思います。そうした社会の中で、オンラインの気軽に繋がることのできる利点を活かしながら、私たちはその中で正しい情報を多くの人に伝えていくための「繋がり」を増やしていかなければならないと考えています。

今回はミニ四駆というツールを使ってでしたが、例えコロナ禍であっても「繋がり」をつくるための方法は何かしらあるはずです。それを忘れずに、今後も様々なことにチャレンジしながら、「繋がり」をつくることを大切に活動していきたいと思えます。

また、ミニ四駆は継続して全国大会も第2回を行いたいと考えていますので、その際は是非皆さまもお気軽にご参加ください。ミニ四駆部の活動の様子などは「CIL 星空」のfacebook, アメーバブログで配信しておりますので、興味のある方は覗いていただければと思います。よろしくお願いたします。

○大会の様子はCIL 星空のブログからご覧になれます。

<https://ameblo.jp/cil-hoshizora/>



## 横隔膜ペースメーカー講演会 ウェビナー報告

～上位頸髄損傷による呼吸不全に対する横隔膜ペーシングの可能性～

兵庫頸髄損傷者連絡会 米田 進一

1月22日(土)、「人工呼吸器使用者の集い」と「USCI ジャパン株式会社」が共催で、ウェビナー「横隔膜ペースメーカー(以下、同ペースメーカー)講演会～上位頸髄損傷による呼吸不全に対する横隔膜ペーシングの可能性～」を開催しました。

昨年のミニ勉強会を開催後、とても反響だったことから、実際に植え込みをされたドクターと当事者をお招きし、講演会を開催しました。今回、とても貴重なお話を聞くことが出来ましたので、以下にご報告いたします。

第一部では、「総合せき損センター」整形外科にご在籍の益田宗彰先生から、「上位頸髄損傷による呼吸不全に対する横隔膜ペーシングの可能性」と題して、横隔膜ペーシング治療についてお話しいただきました。「NeuRx」(横隔膜ペーシングシステム)は、横隔膜に植え込まれた電極に電気刺激を送ることで、横隔膜が収縮し、呼吸の補助を行うシステムです。



総合せき損センター整形外科 益田宗彰先生

映像では、腹腔鏡手術による体内映像を確認しながら、左側横隔膜の収縮反応が一番良い場所に電極を植え込む印を付けていました。そして電極刺激をすると左側横隔膜が動いたので感動してしまいました。実際の手術の映像はとても貴重でした。

先生は、同ペースメーカーが呼吸管理の手法として、急性期・慢性期に問わず、多くの可能性を秘めるデバイスとなることに期待を寄せておられました。改めてNPPVよりリスクが少ないと感じました。

第二部は、同ペースメーカー手術をされた岩渕幸平さんとお父様にインタビューを行いました。岩渕さんは3年前の24歳の時、交通事故により脊髄のC2,C3を損傷。人工呼吸器を1年ほど使用されておられました。ご家族が懸命になって病院を探され、35件目にして受け入れて貰えた医療機関が、益田先生がおられる「総合せき損センター」でした。



横隔膜ペースメーカー手術を受けられた岩渕さん

岩渕さんは、昨年3月に植え込み手術をされました。右側横隔膜は機能しているものの、左側横隔膜に麻痺があるため、左右それぞれ2本の電極を植え込み、体外から送られた電極刺激で横隔膜を動かして呼吸しています。同年9月に、夜間ペーシングを実施され、その後、気管切開を閉鎖されました。2019年に国内認証後、岩渕さんが初の患者となりました。

昨年末に、地元の宮城県仙台市に戻られ、現在支障も無く在宅生活をされているということでした。

今回、多く参加者から、「ペーシングを利用されているご本人を拝見出来たことは良かった」「益田先生の貴重なお話が聞けて良かった」等のお声が聞けたことは、主催者側として大変嬉しく思います。

今後も情報を収集しつつ、医療従事者や当事者にとって呼吸管理の選択肢として、同ペースメーカー治療法が受けられる対象者、導入する医療機関が更に拡大していくことを、心から望んでいます。

益田先生、岩渕さん、お父様、USCI ジャパン株式会社の皆様、ありがとうございました。



## To be yourself 「ひとり暮らし」

兵庫頸髄損傷者連絡会 橘 祐貴

全国頸髄損傷者連絡会では昨年、頸損解体新書 2020 を発行しました。10月の完成報告会の時に行われたブレイクアウトルームが好評だったことから、各テーマに興味のある人たちが集まり、当事者だけでなく専門家も交えてディスカッションすることで情報提供や課題の解決を目指す「To be yourself」を継続的に開催することになりました。その第一弾として、「ひとり暮らし」をテーマに1月23日(日)に開催されたので、その時の様子を報告します。

### 開催概要

テーマ To be yourself 「ひとり暮らし」

日時 2022年1月23日(日)13:00~14:30

場所 オンライン(zoom ミーティング)

話題提供者 橘祐貴(兵庫支部)

鴨治会長による開会の挨拶の後、はじめに話題提供者として、私がひとり暮らしを始めたきっかけや現在の住居に引っ越すまでの経緯について話しました。また、1日の生活の流れや介助サービスの利用状況、生活の中で課題になっていることについてスライドを用いて説明しました。続いて、愛媛で施設から地域でのひとり暮らしへ移行しようとしているIさんより、ひとり暮らしに向けての準備の進捗状況について報告がありました。

その後、参加者一人一人がそれぞれの生活の状況や地域でひとり暮らしを送る上で工夫していること、課題になっていることについて意見交換しました。ひとり暮らしがテーマということもあり、住宅や介助者の確保についての話題が多く出ました。介護者の支給時間の確保については住んでいる地域によって違いが大きいですが、「相談支援員に入ってもらい客観的な視点から伝えてもらうことが効果的だった」、「一度に多くの支給時間を希望するのではなく、少しずつ時間数を増やしてもらった」という意見が出ました。

住宅の確保については、賃貸住宅を探している時に「電動車いすを使用している」という理由で入居を断られた経験がある人が多くいました。また賃貸住宅の改修についても、持ち家と比べて制約が多かったという意見が出ました。ユニットバスへのリフトの設置を嫌がられ設置を断念した人も多く、例えばユニットバスを傷つけずに設置できる方法があるということ当事者や貸し主に知ってもらうことが必要だと感じました。いい物件があっても家賃で諦めるケースも多く、家賃の補助制度の拡充や車いすでも入居できる公営住宅をもっと増やすことも大事だと思います。ほかにもいろいろな話題が出て盛り上がり、予定時間を少し延長して会は終了しました。

To be yourself の記念すべき第一弾で、うまく進めることができるのか少し不安はありましたが、活発にディスカッションすることができホッとしています。住環境が専門の神戸学院大学の糟谷先生にサポートに入っただき、当事者だけでなく専門家も交えて幅広い視点から意見交換ができたのが良かったのだと思います。

今回はひとり暮らしがテーマでしたが、今後もTo be yourself は継続していきます。次回以降は「電動車椅子」や「リフト」をテーマに開催することを予定しています。興味のある方はぜひ参加してください。



## 第5回 災害リハビリテーション支援研修会参加報告

全国頸髄損傷者連絡会 宮野 秀樹

2022年2月5日(土)、オンラインで開催された「第5回災害リハビリテーション支援研修会」に参加しました。災害リハビリテーション支援研修会は、2017年9月から大阪急性期・総合医療センターにおいて、重度の障害や呼吸器を使用している頸髄損傷者に向けた災害時に役立つ情報や対策および課題などについて話し合う研修会です。「大規模災害時、重度障害者が生き残る道」をテーマに、大阪・兵庫頸髄損傷者連絡会のメンバーが専門家と一緒に企画・準備して開催しています。今回は、「私が経験した新型コロナウイルス感染症への取り組みーダイヤモンド・プリンセス号から在宅までー」と題して、国立病院機構本部 DMAT 事務局・福島復興支援室に所属されている小早川義貴先生が講演されました。

災害とは、広辞苑で調べると「異常な自然現象や人為的原因によって、人間の社会生活や人命に受ける被害」と定義されており、昨今の新型コロナウイルス感染症がもたらした被害もひとつの“災害”と捉えられることから、現在新型コロナウイルス感染症対策支援活動に取り組まれている小早川先生から実際の現場でのお話を伺い、重度障害者がコロナ対策において不安に感じていることや問題となることに対して、正確な情報の元に冷静な判断ができるよう障害者と支援者が一緒になって勉強することがこの研修会の主旨となっていました。小早川先生が所属する DMAT は、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとった略称であり、「ディーマット」と呼ばれ、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」であるとのこと。DMAT と聞くと大規模災害発生時にいち早く現場に派遣され医療活動を行うチームとイメージしますが、先述したウイルス感染症拡大も災害と捉えると、DMAT がコロナ禍の災害現場でどのように活動したか大変関心が高まりました。かつ先生のご経験は幅広く、話のひとつひとつ

つが我々の知らされていない情報であり、現場のリアルな緊迫感が伝わってきました。

誰もがよく知っているクルーズ船・ダイヤモンド・プリンセス号における新型コロナウイルス感染症の集団感染時の話。我々が“対岸の火事”のように報道がもたらす情報を聞いている中で、DMAT は早くから船内で活動していました。当初は「DMAT は感染症の専門家ではないだろう」と疑問視される声が多かったようですが、DMAT が船内活動に従事することで感染症の専門家の意見だけでは対応できなかった、ウイルス感染した者だけを搬送するのではなく、緊急に医療を要する人、基礎疾患を有していたり、感染で重篤となるリスクの高い人など、船内生活困難と判断した人を整理して優先度に応じた患者の搬送ができるようになったそうです。

この経験を活かし、各都道府県に赴き、クラスター対策班とは別に地域支援班として、クラスターの発生した施設や地域の保健所、県庁などで、本部の設置や運営等のマネジメント支援、施設機能維持のための人的支援、物資支援、診療支援、搬送調整等に奔走されたそうです。大阪での訪問診療の先生と一緒に歩いて患者宅を周り、在宅治療に取り組まれた様子を聞いたときは、大災害の中でひとつでも多くの命を救おうとする先生たちの姿が思い浮かび、胸が詰まりました。「在宅では死なせない、往診は入院までのつなぎ」という方針を立て、点滴等の物資や人的支援が足りないという明らかに医療の追いついていない状況の中で奮闘する人たちがいたからこそ、今はその経験に基づき適切な医療がある程度は受けられるようになったのだと思いました。

研修会の最後には、我々自身が感染もしくは濃厚接触者になった場合は、公的な対応が得られるまでは自助で乗り切るしかないという課題が残されました。今後も継続してこの課題について様々な職種の人たちと意見交換することを望みます。

## 脊髄損傷の治療に光が！ 世界初 iPS 由来の細胞を移植

事務局長補佐 鈴木 太

本年1月14日（金）のオンライン会見で、慶応大学医学部の岡野栄之教授と中村雅也教授らのグループが、脊髄損傷の患者に iPS 細胞から作った神経のもとになる細胞を移植する臨床研究手術を世界で初めて実施したと発表しました。

NHK NEWS WEB からの引用になりますが、会見で発表されたのは、脊髄損傷の患者に、iPS 細胞を使って神経を再生する研究を進め、脊髄を損傷して4週間以内の患者に対して、iPS 細胞から作った神経のもとになる細胞を200万個移植する手術を行ったところ、手術後の経過は順調で、1年間にわたって安全性に問題がないかなどを慎重に確認していくということで、今後さらに3人に手術を行って安全性や有効性を確認する計画だということです。また、脊髄を損傷してから時間がたった慢性期の患者への応用も進めていくそうです。

これらの発表を受けて、当会の会員に感想を求めました。以下にコメントを記載します。

### 会員からのコメント

#### 40代男性

転落事故により脊髄損傷（頸髄損傷）を受傷して、20年の当事者です。受傷して数年後に同じ障害の当事者さんやご家族さんから ES 細胞の情報や京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞を用いたマウス実験から、数年後には実際に人体への再生医療を行うことができるだろうという情報を聞いた記憶があります。当時は元の身体状態になりたい！と強い意志があったため、可能性に期待し臨床試験を強く希望をしていました。

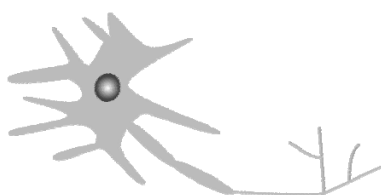
医学も大きく進歩をし、今や受傷後4週間以内の患者さんに対し、iPS 細胞から作った細胞を人体へ移植する治療が現実化され、再生医療の扉が開かれたと耳にします。大変嬉しく思います。今後受傷された方たちへ実用化されることを期待しています。

月日は流れ受傷10年・15年・20年と経った今は、身体に不自由さは多々ありますが今の自分が大好きです。わたし自身はリスクもあるであろう再生医療は希望しません。社会の環境を最も不便に感じる人に基準を合わせ、誰もが安心して暮らせる社会を目指し運動（活動）をしていきます。

#### 40代男性

現在行われている再生医療等、金額を聞いてびっくり、〇〇〇万円！

今回の発表を受け治療が出来れば元通りに動けないのは承知の上、それでもあらゆる所への移乗の問題、感覚が戻ることにより褥瘡を作らない、今も泣かされている失禁の問題が少しでも改善できれば・・・夢は広がりますが受傷して30年以上、順番はいつ来る？費用は等、脊髄損傷には明るい未来であることは大いに良いことではありますが、欲を言えば恩恵を受けたいものです。



# イランに「ミントリハビリテーションセンター」を開設予定！

～ イランの障害者が住み慣れた地域で生き生きと生活ができるように、  
リハビリテーションと仲間づくりを支援する団体 ～

NPO 法人 イランの障害者を支援するミントの会  
理事長 パシャイ モハメッド

## 団体の成り立ち

「NPO イランの障害者を支援するミントの会」は、イラン人の障害当事者、パシャイ モハメッドが代表を務める国際協力団体です。



パシャイは1990年日本来日、2004年仕事中の事故で重傷を負い、脊髄損傷になりました。生きることと絶望した彼が神奈川リハビリテーションであった自分よりも障害が重い人たちの必死に生きようとする姿を見て、自分も生きようと思えることができました。

その後祖国イランにいる障害者のことが気になり連絡を取ったところ、この1枚の写真（左）に衝撃を受けました。寝たきりで何もできない状態のイランの障害者の写真（左）です。自分ができることはないだろうかと考え、日本から車いすなどを送る活動をはじめました。

活動は徐々に広がり、2010年「NPO イランの障害者を支援するミントの会」を設立しました。支援を続ける中で、寝たきりだったイランの障害者が（写真右）元気になっていく姿を見るようになりました。



## ミントの会が目指す社会と使命

**ビジョン:**イランの障害者が、自分の可能性を感じ、活かし、大切にしたい生活を笑顔で送れる尊厳ある社会を目指します。

## ミッション:

1. イランの障害者が住み慣れた地域で生き生きと生活ができるように、さまざまな立場からリハビリテーション支援を行います。
2. イランの障害者が安心して暮らせるように、生活環境・まちの環境改善を支援します。
3. イランのこと、日本のこと、障害のことを伝え、仲間(デュスターネ ナノ)と一緒に考え、行動し、交流します。



## 活動内容

1. イランの障害者に情報や福祉機器を提供  
車いす 300 台・電動ベッド 59 台・リハビリ動画 870 枚・脊損ケア手帳 2000 部・排泄ガイド 2000 部
2. 在宅障害者への自宅を訪問し相談や情報提供
3. イランの障害者にリハビリや看護の知識を提供し専門的人材を育成
4. イランの子供たちに障害理解の啓発活動
5. イランの行政関係者や障害者にバリアフリーワークショップを実施、人材を育成しネットワークを形成



## 6. 障害児デイサービス「アフターブ」支援

## 7. 日本国内の多文化共生事業

## これからの活動

2022年イランのキャラジ市に「ミントリハビリテーションセンター」を作ります。そのために、施設のスロープを改修し電動車いすの障害者が利用できるようにしています。施設内は、リハビリを受ける場所やパソコンを使った運動機器をそろえ、同じ障害を持つ人や家族の困りごとを相談できる場所にします。このような交流のできる場所があることで、一人で悩まずに暮らしていただけます。

## 障害者一人一人の声に耳を傾けて！！

「4年間ベッドで寝たきりの人」「小さな部屋で食事だけ与えられていた人」「何度も自分の事をせめてリストカットした人」そのような体験をする人がないようにしたい、明るい笑顔を見たい、外の空気を思いっきり吸って仲間と語り合える居場所を作りたい。一人一人の声が聴きたい。皆様の応援やご支援をお願いいたします。

「イランではミントとは根付いて広がる」の意味



<自宅訪問活動>



<ホームケア研修会>



<バリアフリー研修会>



<障害理解啓発活動>



<障害児デイサービス支援>

✿仲間・サポーター・情報提供募集

会員登録入会：年6000円

✿寄付（福祉機器や寄付）お願いします。

・郵便局：00210-8-53361

・みずほ銀行 秦野支店 普通口座 1996349

NPO イランの障害者を支援するミントの会

所在地：神奈川県

TEL:080-3496-3428(代)

090-5802-8269(事務局)

Email：mint\_assist@yahoo.co.jp

URL：http://www.mint-assist.com/

https://blog.canpan.info/mint-assist/

# 命を見守るセンサー「SuuHaa」

株式会社モーリス 代表取締役社長 毛利 公一

SuuHaa (スーハー)は、人間の呼吸をリアルタイムで見ることができる商品です。皆さんの普段の呼吸を記憶し、異常があるとすぐに皆さんへお伝えします。また、睡眠時無呼吸症候群も秒単位で検出することができます。

このプロジェクトは、株式会社モーリス(香川県)が考案した呼吸センサー「SuuHaa」を全国66万人いる四肢麻痺障がい者(内、呼吸器使用者約8000人)の睡眠時での呼吸器外れの不安を取り除くために提供するものです。製品の開発に携わった私の呼吸器を使用していた実体験、当事者体験をもとに生まれました。



**安心安全快適な  
睡眠システムを提供するための  
呼吸センサーを量産したい**

## 1 何ができるの？

SuuHaa は、人間の呼吸をリアルタイムに測定し、そのデータをクラウド上に保存します。測定したデータを AI が常に見守っており、異常を感じた時は、スマートフォンにアラームを鳴らします。SuuHaa とスマートフォンが離れた場所にあったとしても、ちゃんとアラームで離れたところにいる人に異常を伝えることができます。更に、呼吸だけでなく体動も感知することでベッドから転倒したことも感知することが可能です。つまり、呼吸で見守る商品です。また、見守りのモードが2つあります。1つは、上

述の通り遠隔でアラームを鳴らす「命の見守りモード」です。2つ目は、寝ている時の無呼吸状態を計測しフィードバックする「睡眠時無呼吸症候群モード」です。

## 2 どのように使うの？

SuuHaa は、人間の胴体に巻き付けて使います。胴体であれば、胸でもお腹でも大丈夫です。



## 3 今までになかったの？

呼吸を測定する機械は、これまでもありました。しかし、今までは病院にしかなく、用途は睡眠時無呼吸症候群の測定のためでした。また、とても大変な測定でした。次の写真が、実際測定をしている場面です。



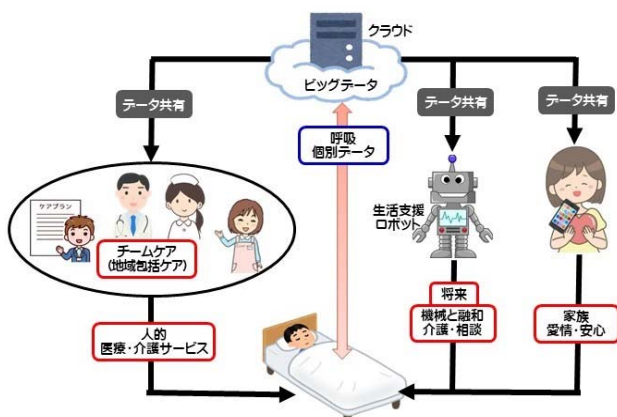
SuuHaa は、今までの病院のものとは比べて、小型で軽量で薄型で手のひらに乗せる事ができるサイズです。また、SuuHaa だったら、ご家庭で簡単に測定することもできます。今までも、ご家庭で体温や血圧を測定する機器はありましたが、呼吸を見ることができる機器は、SuuHaa が唯一の商品です。また、褥瘡等ができないように、形状を丸く角がないものにしました。体に巻きつけるベルトも、肌触りがやわらかく、皮膚への摩擦が少ないものにこだわりました。

#### 4 どんな場面に使うの？

SuuHaa は、次の方々の命の見守りを行います。

- ・呼吸器を使用する重度障がい者や四肢麻痺障がい者約 66 万人の遠隔見守り
  - ・睡眠時無呼吸症候群患者約 500 万人の睡眠見守り
  - ・独居高齢者 562 万人の遠隔見守り
  - ・乳幼児の突然死症候群(突然死の 80%が窒息等の呼吸に関する死亡)の遠隔見守り
- また、近い将来の医療連携も目指しています。そして、更なる広がりとして、
- ・居眠り運転を検知して警報を鳴らす。居眠り運転事故の予防
  - ・夏場の農業や危険場所で働く労働者の見守り。熱中症の予防、事故の早期発見
  - ・コロナウイルス在宅療養患者の呼吸状態の見守り。(パルスオキシメータよりも早く重症度気が付くことを確認しました)

最終的に SuuHaa は、1 人の使用者を沢山の人間で見守ることができる環境を作ります。



#### 5 SuuHaa の受賞歴

SuuHaa は、いくつかの賞をいただきました。

- ▶ 香川ビジネス&パブリックコンペ 2021 (2021年8月28日)、ビジネス部門[「呼吸で見守る！誰もが安心安全な生活と職場を作るセンサー」]でグランプリを受賞。
  - ▶ 超異分野学会フォーラム 2021 (2021年12月4日) 下記の2テーマの研究開発を発表。
    - ・「AI と障がい者がつくる安心快適な睡眠環境システム」: KOBASHI HOLDINGS 賞
    - ・「呼吸センサーによる見守りシステム」: 香川フォーラム賞
- を受賞しました。

#### 6 SuuHaa への思い

私はかつて、呼吸器を使用していました。呼吸器が万が一外れてしまうと、呼吸器が外れると、呼吸器本体からアラームが鳴ります。しかしその音が聞こえない場所に介助者がいるとどうなるのでしょうか？おそらく当時の私は1分~2分で死んでしまうでしょう。その為、夜介助者が寝ている時間や、昼間目の前から介助者が離れると大きな不安がありました。

元気に生きていると、呼吸がどれだけ大切なのかなんて考えたことがないと思います。でも、全国には不安を感じている呼吸器使用者が 8000 人もいるのです。私は、かつての当事者として、この方々の不安を無くしたいと思いました。

#### 【皆様からのお問合せ先】

株式会社モーリス  
 香川県観音寺市観音寺町甲 3407  
 携帯：080-4052-2138(毛利直通)  
 メール：moris@mori2.co.jp



## 書評 「頸損解体新書 2020 ー自分らしくあるためにー」

(全国頸髄損傷者連絡会／日本リハビリテーション工学協会 協力事業)

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 井上 剛伸

「解体新書」と聞いて、「解剖するの?」と思ってしまうのは、私だけでしょうか。切って、剥がして、部分部分に分けていく感じ。ちょっと冷たい感じがしますね。「頸損解体新書 2020」は、そんなことはありません。頸髄損傷の方々、ご自身の体のこととか、心のこと、家族のこと、ともだちのこと、介助のこと、制度のこと、恋愛や結婚などなど、いろいろなことを一つ一つ紡ぎあわせて、それぞれが作り上げた生活や人生がたっぷり詰まった本なのです。とてもあたたかい感じが伝わってきます。それは、表表紙・裏表紙にも表れていて、みんなの「自分らしい」笑顔が沁みってきます。

全体は、4部構成になっていて、第1部は「みんなちがって、みんないい」というタイトルで、11名の方からのご自身の生活や人生が事例として紹介されています。話題は多岐にわたり、受傷から生活を成り立たせる過程のチャレンジ、自分らしくあるための思いや工夫や活動など、なかま、恋愛、結婚、子育て、はたらくことなど、それぞれの生活がキラキラと描かれています。また、この本で一つの柱となっている災害への備えについても、役立つ情報が書かれています。さらに、4名の方からの未来へ向けた思い、そして頸髄損傷者を取り巻く課題としてのまとめが示されています。

第2部には、この本の発刊にあわせて実施された、「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」の結果が示されています。全国の頸髄損傷者を対象とした調査で、回答者562名の結果になります。調査結果なので、当然数字で分析結果が示されているのですが、第1部を読んだ後に見てみると、なんとなくその数字の中に、回答されたお一人お一人の生活がにじみ出てくるような気がしてきます。結果は、地域格差、高齢障害者、外出の壁、助成頸損者が抱える課題、就労、福祉用具／機器・ICT・バリアフリー、住環境、災害、健康、ライフスタイル、制度・サービス、重度頸髄損傷者の現状と課題、在宅以外で生活する頸髄損傷者の、13の項目に分けて記述されています。特に、高齢化の問題や女性に焦点をあてた課題、災害に関する話題は、近年の多様化や災害への備えの重要性の高まりを反映した、2020年ならではの分析項目だと思います。

第3部には、第1部、第2部を受けた提言がまとめられています。現状の把握から、社会的条件整備に関する課題の抽出、そして「誰もが自立できる社会を目指して」と題した提言が示されます。提言のキーワードは、やはり「セルフヘルプ」、共通の体験を通じて互いに支えあい、互いに助け合い、自分自身の生き方を見いだしていくことが、中心に据えられています。2020年の調査と言うこともあり、COVID-19の感染拡大の影響についても言及されています。第4部は、資料編です。

もう一つの楽しみ方は、時代の変化を見てとることです。「頸損解体新書」は過去に2回発刊(1994年、2010年)されており、同様に全国調査も行い、その結果が示されています。今回の調査も過去2回の調査とのデータとの比較ができるように配慮されています。これについては、本編の第3部にも記述があります。ここでは、「頸損解体新書」の副題の変遷を示す事で、時代の変化をご紹介します。1994年版は「復活のあすに向かって」、2010年版は「ひとりじゃないよ」、そして2020年版は「自分らしくあるために」。変化を感じとれるような気がしませんか?

以上のように、本書には客観的なデータを基にしながら、頸髄損傷者の実態や課題、未来に向けた提言が示されている。頸髄損傷当事者、医療や介護、機器、住宅、社会環境、制度など関連する多くの方々にご一読いただきたい一冊です。最後に、実態調査から本書の発刊までの道のりはとても大変だったと思います。実行委員、調査票作成アドバイザーをはじめ関係者の皆さんに心より感謝の意を表したいと思います。

# 第36回 リハ工学カンファレンス

The 36th Japanese Conference on the  
Advancement of Assistive and Rehabilitation  
Technology in Chugoku・Shikoku

from 中国・四国支部



リハビリテーション工学（障害がある方々の生活を豊かにするための工学的支援技術）に興味を持つさまざまな分野の参加者が集まります。

障害のある方の生活を支援する機器や技術について情報交換したり、お互いに、理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的に毎年1回開催しています。

当事者、工学、医学、福祉、教育、行政などの関係分野だけでなく、興味がある方はぜひご参加・発表ください！

## 【お問い合わせ先】

第36回リハ工学カンファレンス  
from中国・四国支部 実行委員会

〒739-2695広島県広島市黒瀬学園台555-36  
広島国際大学リハビリテーション学科3806研究室内

電話：0823-70-4851(代表)

FAX：0823-70-4852

連絡先：conf-36@resja.or.jp



新しい情報は

WEBサイトに掲載いたします。

<https://resja.or.jp/conf-36/>

テーマ

リハ工学が変わる！  
住み続けられるまちづくり

開催日

2022年8月20日(土)21日(日)

オンライン  
開催

## 【スケジュール】

演題募集期間

3月22日(火)～4月22日(金)

抄録登録期間

5月9日(月)～6月11日(土)

事前登録申込期間

5月9日(月)～8月5日(金)

## 【内容】

- ①一般演題発表
- ②特別企画「これからの人手不足に対して福祉用具でどう解決していくか」
- ③市民公開講座「これからのノーリフト」
- ④アフターセッション
- ⑤オンライン福祉機器展
- ⑥福祉機器コンテスト表彰式

【大会長】

鈴木 太

【実行委員長】

谷口公友

【主催】

一般社団法人

日本リハビリテーション

工学協会

# お役立ち！？

全国頸髄損傷者連絡会 鴨治 慎吾

配達業者や訪問者が来た時も、玄関を開けずに対応できるためのグッズを集めてみました。まだ続いているコロナ禍でも直接対面しなくても対応できるのではないのでしょうか。

## ◎ (Panasonic) テレビドアホン VL-SWD505KS



- ・モニター親機にカメラを搭載。外出中のスマホとビデオ通話ができる。
- ・外出中でもスマホで来客対応ができる。☆
- ・みまもりリモコン(別売)で家族の帰宅や外出をスマホにお知らせ。

外形寸法(高さ×幅×奥行) 約 192×165×27(mm)  
画面表示 約5型ワイド カラー液晶ディスプレイ  
機能(モニター親機に接続可能な機器)

- ・スマートフォン連動
- ・みまもりリモコン
- ・住宅用火災警報器
- ・ワイヤレスカメラ
- ・センサーカメラ
- ・ファクス・電話機接続
- ・電気錠接続
- ・光るチャイム・メロディサイン
- ・窓/ドアセンサー
- ・中継アンテナ

Amazon 調べ 63,200 円(税込)

パナソニック HP 詳しくは、メーカーへ。

<https://panasonic.jp/door/products/swd505.html>

電話：0120 - 878 - 983 (9:00~18:00 年中無休)

## ◎ (COCOCAM) インターホン ワイヤレス ビデオドアホン 工事不要



- ・ワイヤレスドアホンとして、HD 1080P 高解像度の画質と 166° 広角レンズを内蔵されてカメラが付き、撮影範囲に入る次第ははっきりと撮影します。
- ・ワイヤレスインターホンとして、人間検知とモーション検知録画、アラーム通知送信、双方向音声通話、遠隔操作、共有機能など様々な防犯カメラの機能を搭載され、防犯対策を徹底的に行います！
- ・ビデオドアベルとして、複数の無線受信機(ワイヤレスチャイム)をペアリングでき、玄関まで遠い所においても来客のベルを見逃すことはありません。
- ・カメラ付きドアホンとして、想像以上長い稼働時間ができ、人間検知機能により誤検知を避けてバッテリーの電量も節約します。毎日 10 回ぐらい検出された場合は約 3 ヶ月動作でき、頻繁に充電する必要がありません！
- ・このワイヤレスインターホンは、家の WIFI とインターホンが接続できたら、外出先でいつでも映像を確認でき、インターホン側の訪問者と会話することができます。

Amazon 登録情報 B09QM56K29

Amazon 調べ 8,999 円(税込)

サポート窓口 support\_jp@cococamtech.com

販売者 (GrassGrow Japan)



## ◎IoT スマート宅配BOX



品番 300-DLBOX020DS

●宅配業者や郵便局が、受け取り人留守の場合に荷物を預け入れられるスマート宅配ロッカーです。

●アプリ連動で、荷物の追跡や投函の連絡や受け取り状況などを管理することができます。

●宅配業者は、送り状のバーコードをスマートロッカーにかざすだけで、荷物の投函が可能になります。

●荷物が投函されたら庫内を撮影され、納品通知と写真がスマホに届きます。

●スマートフォン専用アプリで生成される QR コードをスマートロックにかざすと解錠され、荷物の受け取りが可能です。

●万が一充電地がなくなった場合でも扉の施錠ができるラッチ錠も使用可能です。

●スチールで作られており、耐久性に強く、丈夫で、防サビを備えた商品です。

●預け入れの説明POPを前面扉に表示することで、取り扱いも簡単です。使わない場合は、シートファイルごと取り外しができるマグネット式になっています。

サイズ W450×D500×H650mm 重さ 10.5kg

詳しくは下記のHPをご覧ください。

価格：54,800円(税込)

<https://direct.sanwa.co.jp/>

販売元 サンワサプライ株式会社

お問合せ 086-223-5680

## ◎ Probasto 宅配ボックス



【防水・保温・保冷・扱いやすい】

【様々な場所に固定できる】

【大容量 75L(リットル)】

【完備な付属品セット】

南京錠×1セット、ダイヤル錠×1、盗難防止ワイヤー×1、Sフック×2、案内ステッカー

【本体サイズ】約幅51×奥行43×高さ33cm。

【折り畳み時】約幅52×奥行35×高さ7cm。

【重さ】 1.56 kg

Amazon 登録情報 B09PFNSMYF

Amazon 調べ 3,780円(税込)

PROBASTO-JP「メーカー直営店」

お問合せ 078-521-0829

☆類損には厳しいコロナ渦で、感染対策としてもどうでしょうか？

外出時や一人で荷物を受け取れない方にも便利かもしれませんね。

他にも良い商品等があれば、編集部までお知らせください。

(2022年2月末日の情報です。)

## 報道・情報ピックアップ

TETUDO.COM 2021.11.17 15:04

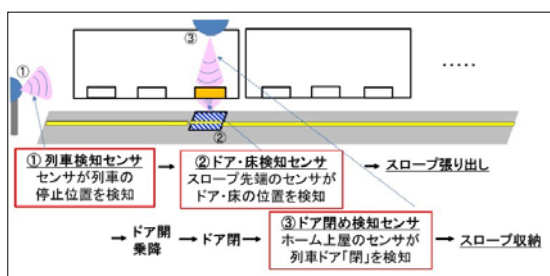
### JR 西、ホームと列車の段差を埋める自動スロープの現地検証を実施

JR 西日本は17日、車いす利用者の乗降支援用として開発を進めている「可動スロープ」の現地検証を実施すると発表した。

可動スロープは、ホームと列車の段差や隙間を埋めるための装置。同社が開発中の装置では、駅の「列車検知センサ」が列車の到着を検知すると、スロープ先端のセンサーが乗降口とホームの距離を計測。スロープが自動で展開し、段差や隙間を埋める。また、乗降完了後に車両のドアが閉まると、スロープは自動的に収納する。加えて、「旅客検知3Dセンサ」や「スロープ先端部接触検知センサ」を設置し、装置稼働中の乗客の転倒や挟み込みを防止する。

車いす乗降支援用の可動スロープは、京急グループの京急ファインテックが、リモコンで操作する「ラクーパ」を開発。沖縄都市モノレール（ゆいレール）などが採用している。また、ホームと列車の隙間を埋める装置としては、東京メトロなどがホームドア開閉に連動する「可動ステップ」を導入している。一方、JR 西日本の装置は、列車の到着から出発までの一連の流れにあわせ、自動で段差と隙間の両方を埋める装置となっており、完成すれば鉄道事業者では初の導入事例となるという。

現地検証は、11月21日から2022年2月中旬まで、JR ゆめ咲線桜島駅にて実施。屋外条件や、実際のホーム環境での動作安定性の確認、本装置を利用する乗客の利便性について検証するとしている。



朝日新聞社 12/7(火) 17:10 配信

### 無人時間帯理由に車いす対応断る JR 九州を国交省が指導

長崎県の車いすの女性が鉄道を使おうと JR 九州に申し込んだら、駅が無人の時間帯なのを理由に断られた——。そんな本人の訴えを受けた国土交通省が11月、再発防止に努めるよう同社を口頭で指導した。JR の対応が、障害者への配慮を求める法令の理念に反する、とみなした。

女性は、長崎市近郊の同県長与町で暮らすアクセサリー作家管田（すがた）多津子さん（41）。昨年9月、乗車前に最寄りの長与駅での下車を申し込んだところ、希望の時間に駅員が不在で「対応できない」と断られた。今年7月には、予約したものの、倒木で列車のダイヤが乱れて介助の職員が間に合わず、希望の時間帯に乗れなかった。

管田さんは「次もまた乗れないのでは」と不安を感じ、JR が使えなくなった。タクシー代がかさみ、仕事でも長崎市へ行きづらくなっているという。

管田さんは10月、予約しないと自由に鉄道が使えない状況の改善を求め、全国から集まった2907人分の署名をJR に提出。国交省にもJR の対応についての見解をたじた。

11月18日の指導は、これを受けたもの。社会の障壁を取り除く合理的配慮をうたう、障害者差別解消法

やバリアフリー法の理念にもとづき、JRは時間がかかっても管田さんに対応をするべきだった、とした。

同社は2件の問題について、管田さんに「当社の不備だった」と陳謝。国の指導については取材に対し、「真摯（しんし）に受け止め、再発防止に努めて参ります」とコメントした。管田さんは「同じ対応をされ、声を上げられない人がほかにいると思う。JRには障害者の立場に立ち、改善をしてほしい」と話す。

国交省は昨年、全国の鉄道各社や障害者団体と、無人駅の利用での課題を整理する意見交換会を開催。今年9月、ガイドラインの中間取りまとめでは、「（鉄道事業者は）無人駅だけを理由に利用を断らない」との方向性を示している。（米田悠一郎）

---

## 共同通信 2/3(木) 15:12 配信

### 障害福祉の全国データ構築の方針 厚労省、質向上に活用

障害者が利用する介護や就労支援などの障害福祉サービスについて、厚生労働省は全国の利用状況などを集積したデータベースを構築する方針を決めた。データを分析し、サービスの質の向上やばらつきの是正、制度見直しに活用する。2022年度中に障害者総合支援法を改正したい考えで、23年度からの稼働を目指す。

医療や高齢者介護では国が保有するデータベースがあるが、障害福祉では未整備。サービス利用者は21年9月時点で約135万人おり、21年度の総費用（予算ベース）は約3兆3千億円と、いずれも年々増えている。データは、公益性の高い研究を行う企業や研究者にも提供する方針。

---

## 朝日新聞デジタル 2/4(金) 18:00 配信

### 障害者が育てたサツマイモでつくった焼酎 その名も「自立」

福岡県の障害者施設に通う人たちが栽培したジョイホワイトというサツマイモでつくった焼酎「自立」が12年ぶりにラベルを一新し、福岡県内のイオンとイオンスタイル10店舗で販売されている。成人や就職など門出の春を迎える大人も多いこの季節、「すべての人の自立を応援したい」とのメッセージを込めている。

---

## 毎日新聞 2/6(日) 14:22 配信

### 次期介助犬候補と顔合わせ 車椅子の男性と現介助犬が相性見極め

兵庫県宝塚市で車椅子生活を送る木村佳友さん（61）が5日、新たな介助犬候補の2頭と自宅で顔合わせをした。現在、木村さんの日常生活を支える介助犬デージー（9歳、雌）が高齢となり、近く引退するため。作業療法士らが、木村さんが必要とする介助動作を確認し、引退後はペットとして同居するデージーとの相性も見極めた。

育成団体「兵庫介助犬協会」のスタッフが、若い雌の候補犬2頭を連れて訪問。2頭とも基礎訓練が始まっており、トレーナーの井土希さんは「街中で車椅子に乗った状態でコントロールできるかといった訓練をしている。2頭とも介助作業への意欲はある」と紹介した。

また、作業療法士の川崎めぐみさんが、木村さんから介助犬に求める作業を詳しく聞き取り、電気のスイッチの位置などを確認。今後の訓練内容に反映する。好奇心旺盛な若い2頭から積極的にアプローチされたデージーは、少し迷惑そうに距離を取りつつも興奮したり威嚇したりする場面はなかった。

木村さんは「デージーが譲る場面が多く、相性としては大丈夫だと思う」と話した。2頭は今後も訓練を受け、結果次第では、別の候補も含めて次期介助犬が決まる。

2015年2月に認定されたデージーは、木村さんにとって3頭目の介助犬。規定により11歳になる23年3月までに引退する。【花牟礼紀仁】

# 全国頸損連絡会 & 関係団体 “年間予定”

(2022年4月～2022年12月)

事務局

年間予定は、新型コロナウイルスの影響により、変更される可能性があります  
詳しくは主催者にご確認ください

## [2022]

5月28～29日(土～日)	DP1日本会議全国集会	(オンライン)
6月3～5日(金～日)	第49回全国頸髓損傷者連絡会総会・四国大会	(オンライン)
6月8～10日(水～金)	第28回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展 バリアフリー2022	(インテックス大阪&オンライン)
6月21～(火～)	JIL全国セミナー	(オンライン)
8月20～21日(土～日)	第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部	(オンライン)
10月29日(土)	4都県合同交流会(福島担当)	(オンライン)
10月5～7日(水～金)	第49回HCR国際福祉機器展	(東京ビッグサイト)
11月6日(日)	四国頸損の集い2022	(未定)

※ 予定日時・場所は変更になる場合がありますのでご了承ください。

※ 全国機関誌『頸損』発行 4月・8月・12月(年3回)

※ お問い合わせは該当各支部、本部事務局までお願いいたします。

## 2022年3月12日から

### 東海道新幹線車椅子スペース6席車両定期運行開始

以前から新幹線の車椅子スペースの不足が問題になっていましたが、2席分から6席分へ拡大されました。以前は11号車に車椅子スペースが2台分と多目的室を個室があり、それを順次新型車両から6席分へ拡大してきていましたが、定期的な運行ではなくこの時間に絶対乗れるというものではありませんでした。しかし、2022年3月のダイヤ改正で1日18本、毎日決まった時刻に6席分の車両が運行されることになりました。

のぞみ207号	東京 8:00	新大阪 10:30
のぞみ213号	東京 9:00	新大阪 11:30
のぞみ247号	東京 17:39	新大阪 20:06
のぞみ255号	東京 19:00	新大阪 21:30
のぞみ261号	東京 21:03	新大阪 23:27
ひかり633号	東京 7:33	新大阪 10:27
こだま703号	東京 6:57	新大阪 10:51
こだま727号	東京 12:57	新大阪 16:51
こだま733号	東京 14:27	名古屋 17:06

のぞみ204号	新大阪 6:15	東京 8:39
のぞみ210号	新大阪 7:39	東京 10:06
のぞみ236号	新大阪 16:15	東京 18:45
のぞみ246号	新大阪 18:15	東京 20:45
ひかり648号	新大阪 11:18	東京 14:12
ひかり668号	新大阪 20:45	東京 23:29
こだま724号	新大阪 11:54	東京 15:48
こだま748号	新大阪 17:54	東京 21:48
こだま754号	名古屋 20:38	東京 23:24

# 全国頸髄損傷者連絡会連絡先

(2022年3月現在)

## 全国頸髄損傷者連絡会・本部

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ 88 305B 特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-555-6022 e-mail:[jaqoffice7@gmail.com](mailto:jaqoffice7@gmail.com) <https://k-son.net/>

【郵便振替】口座番号:00110-0-62671 口座名義:全国頸髄損傷者連絡会

※ 各支部、地区窓口に連絡がつかない場合は本部にお問い合わせください。

※ 電話でのお問い合わせ等は、平日 10時~17時の間にお願いいたします。

## 福島地区窓口 「福島頸損友の会」

〒961-8031 福島県西白河郡西郷村大字米字中山前146-1(相山方)

TEL 080-1656-1727 e-mail:[hidamari.s@gmail.com](mailto:hidamari.s@gmail.com) <http://fukushima-keitomo.e-whs.net/>

## 栃木頸髄損傷者連絡会

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ内(2F)

TEL&FAX 028-623-0825 e-mail:[keison@plum.plala.or.jp](mailto:keison@plum.plala.or.jp) <http://www16.plala.or.jp/tochigi-keison/>

## 東京頸髄損傷者連絡会

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-1-2 伊藤マンション 205(鴨治方)

TEL 090-8567-5150 e-mail:[tokyokeisonn@gmail.com](mailto:tokyokeisonn@gmail.com) <http://www.normanet.ne.jp/~tkyksen/index.html>

## 神奈川頸髄損傷者連絡会

〒228-0828 神奈川県相模原市麻溝台696-1 ライム106号室(星野方)

TEL&FAX 042-777-5736 e-mail:[h-futosi@wa2.so-net.ne.jp](mailto:h-futosi@wa2.so-net.ne.jp)

## 静岡地区窓口

〒426-0016 静岡県藤枝市郡1-3-27 NPO 法人障害者生活支援センターおのころ島気付

TEL 054-641-7001 FAX 054-641-7181 e-mail:[matunosuke@cy.tnc.ne.jp](mailto:matunosuke@cy.tnc.ne.jp)

## 愛知頸髄損傷者連絡会

〒466-0035 愛知県名古屋市昭和区松風町2-28 ノーブル千賀1F AJU自立生活情報センター内

TEL 052-841-6677 FAX 052-841-6622 e-mail:[kito@aju-cil.com](mailto:kito@aju-cil.com)

## 頸髄損傷者連絡会・岐阜

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4-1-7 ソフトピアジャパン702 バーチャルメディア工房内

TEL&FAX 0584-77-0533 e-mail:[kson\\_g@yahoo.co.jp](mailto:kson_g@yahoo.co.jp) <http://g-kson.net/>

## 京都頸髄損傷者連絡会

〒601-8441 京都府京都市南区西九条南田町4番地 九条住宅B棟313(村田方)

TEL 090-8886-9377 e-mail:[keison@ev.moo.jp](mailto:keison@ev.moo.jp)

## 大阪頸髄損傷者連絡会

〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町3-4-21 ベルエキップ・オグラン1階 自立生活センターあるる内

TEL&FAX 06-6355-0114 e-mail:[info@okeison.com](mailto:info@okeison.com) <http://okeison.com>

## 兵庫頸髄損傷者連絡会

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ 88 305B 特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-555-6229 FAX 079-553-6401 e-Mail:[hkeison@yahoo.co.jp](mailto:hkeison@yahoo.co.jp) <http://hkeison.net/>

## 香川頸髄損傷者連絡会

〒768-0104 香川県三豊市山本町神田1223(長谷川方)

TEL 0875-63-3281 e-Mail:[tsu-chan.h@shirt.ocn.ne.jp](mailto:tsu-chan.h@shirt.ocn.ne.jp)

## 愛媛頸髄損傷者連絡会

〒799-0433 愛媛県四国中央市豊岡町豊田336-2(山下方)

TEL 0896-25-1290 e-mail:[ehimekeison@gmail.com](mailto:ehimekeison@gmail.com)

## 徳島頸髄損傷者連絡会

〒779-1402 徳島県阿南市桑野町岡ノ鼻28番地(江川方)

TEL 0884-21-1604 e-mail:[awakeisons@gmail.com](mailto:awakeisons@gmail.com)

## 九州頸髄損傷者連絡会

〒874-0919 大分県別府市石垣東3丁目3番16号 別府J1階 NPO 法人自立支援センターおおい内

TEL 0977-27-5508 FAX 0977-24-4924 e-mail:[kkcr@jp700.com](mailto:kkcr@jp700.com)





岐阜支部より：「ぎふ長良川鶴飼」岐阜市長良川で1300年以上の歴史を持つ鶴飼漁、「宮内庁式部職鶴匠」に任命されている6名の鶴匠と鶴が織り成す船鶴飼は、国の重要無形民俗文化財となっています。

車椅子で乗船可能な観覧船があり間近で鶴飼漁が見られます。車椅子での乗船は台数に限りがありますので事前予約をおすすめします。また、乗船場から約1km離れた場所に長良川の鶴飼を分かりやすく紹介している施設“長良川うかいミュージアム”もあります。

## 編集部通信

### ●頸損者に役立つ情報、編集企画、また機関誌へのご意見を募集しております

編集部連絡先（担当：八幡） E-mail：[bxn06214@nifty.com](mailto:bxn06214@nifty.com)

全国頸損連絡会・本部事務局 E-mail：[jagoffice7@gmail.com](mailto:jagoffice7@gmail.com)

TEL：079-555-6022

### ●当会では、善意の活動支援寄付もお願いしております

郵便振替口座番号：00110-0-62671 口座名義：全国頸髄損傷者連絡会

### ■機関誌広告募集 年3回発行（4月・8月・12月）

機関誌「頸損」は、全国頸損会員（約500名）及び関係する方々に購読していただいています。当会では、広告掲載して活動支援をしていただける、福祉・医療機器業者の方を募集しております。当会HP <http://k-son.net/> をご参照いただき、是非、広告掲載をご検討いただけたら幸いです。

〔広告掲載要綱〕

◎料金：1ページ・2万円 / 半ページ・1万円（※1年以上継続契約の場合は半額割引）

◎問い合わせは上記の編集部連絡先、または本部事務局までお願いいたします。

### 編集後記

先日、福島県沖で大きい地震が起きた。災害弱者となってしまう我々頸損者にとっては厳しい事である。ここ数年続いている新型コロナ感染症も少しずつ収まってきているものの、新たな変異株の発生で油断が出来ない状況である。頸損者でも感染されてしまった方もいて、介助体制・訪問看護・医療等に関して、大変な思いをしていると聞いている。色々な事で頸損者は弱者となりがちである。もちろん重要なのは自助だが、互助の為、仲間や地域の人との関係性も大切である。日頃から地域との関わりを持つことが必要ではないだろうか。そして、公助がもう少ししっかりしていれば、良き対応ができたのではないだろうか。

最も、自助を踏まえたいであるが。

(S・K)

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可（毎月六回一・六の日発行）  
二〇二二年三月二十四日発行 S S K A 頸 損 通巻第一〇七三四号

編集人

東京都練馬区石神井町  
七―一―二―二〇五  
全国頸髄損傷者連絡会

発行人

東京都世田谷区祖師谷三―一―十七  
ヴェルドゥーラ祖師谷一〇二号室  
障害者団体定期刊行物協会

### 全国頸髄損傷者連絡会

〒669-1546

兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1

フローラ 88 305B 特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL : 079-555-6022 Email : jaqoffice7@gmail.com

頒価 250 円

無断転載・複製を禁じます